

2026年9月28日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

おひとりさまに関する調査 2026

～万が一のときに頼る相手「家族・親族」が突出、2位「友人・知人」3位「行政機関」～
男女ともに20代では「生成AI」が3位

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：蕪木 広義）は、20歳～69歳の未婚男女4,700名（男性2,350名 女性2,350名）を対象に、「おひとりさまに関する調査2026」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆万が一のときに頼る相手「家族・親族」が突出、2位「友人・知人」3位「行政機関」
男女ともに20代では「生成AI」が3位

万が一のときに頼る相手がいる人に、頼る相手を聞いたところ、「家族・親族」が突出して高くなり、「友人・知人」、「行政機関」が続きました。

性年代別にみると、20代では男女ともに、「生成AI」が「家族・親族」と「友人・知人」に続いて3位となりました。

Q. 万一の時に頼る相手は？



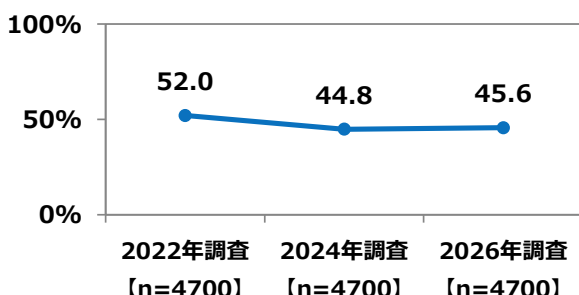
全体	20代男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代男性
1位 家族・親族	1位 家族・親族	1位 家族・親族	1位 家族・親族	1位 家族・親族	1位 家族・親族
2位 友人・知人	2位 友人・知人	2位 友人・知人	2位 友人・知人	2位 友人・知人	2位 友人・知人
3位 行政機関	3位 生成AI	3位 職場の人	3位 行政機関	3位 行政機関	3位 行政機関
4位 職場の人					
5位 生成AI					
	20代女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代女性
	1位 家族・親族	1位 家族・親族	1位 家族・親族	1位 家族・親族	1位 家族・親族
	2位 友人・知人	2位 友人・知人	2位 友人・知人	2位 友人・知人	2位 友人・知人
	3位 生成AI	3位 行政機関	3位 行政機関	3位 行政機関	3位 行政機関

◆おひとりさまの生活満足度 満足層は全体の46% 男性では兵庫県が1位、女性では鳥取県が1位

現在の生活に満足しているか聞いたところ、『満足している（計）』は45.6%、『満足していない（計）』は54.4%となりました。過去の調査結果と比較すると、満足している人の割合は、2022年52.0%→2024年44.8%→2026年45.6%と、前回調査と同水準でした。

男女・都道府県別にみると、現在の生活に満足している人の割合が最も高くなったのは、男性では兵庫県、女性では鳥取県となりました。

現在の生活に満足している人の割合・満足度ランキング



男性	女性
1位 兵庫県 58.0%	1位 鳥取県 62.0%
2位 埼玉県 56.0%	2位 新潟県 60.0%
3位 石川県 52.0%	3位 三重県 58.0%
	3位 兵庫県 58.0%
	宮崎県

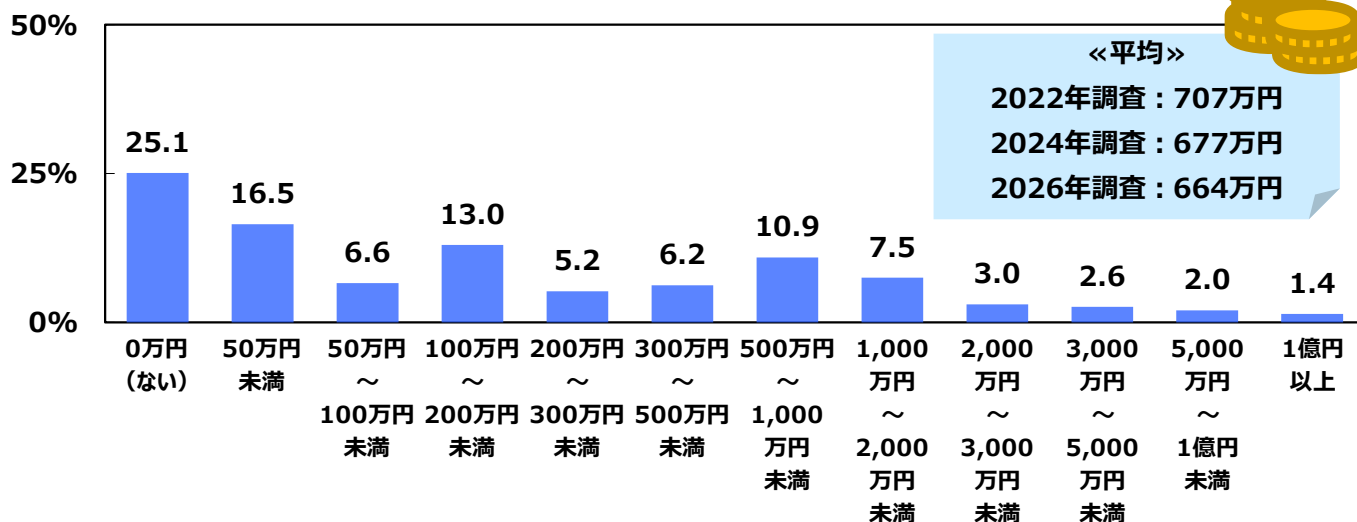


◆おひとりさまの現在の貯蓄額 4人に1人が「ない」 全体の平均は664万円、2022年調査から43万円減少

現在の貯蓄額を聞いたところ、「0万円（ない）」（25.1％）に最も多くの回答が集まったほか、「50万円未満」や「100万円～200万円未満」、「500万円～1,000万円未満」と続き、平均は664万円でした。

過去の調査結果と比較すると、現在の貯蓄額の平均は、2022年707万円→2024年677万円→2026年664万円と減少傾向が続き、2022年調査からは43万円の減少となりました。物価上昇や円安進行、不安定な経済情勢などの影響を受け、貯蓄する余裕がないケースもあるのではないのでしょうか。また、前回の調査結果から、男性の平均金額は同水準で推移したものの、女性では25万円の減少（2024年625万円→2026年600万円）となりました。

Q. 現在の貯蓄額は？



◆おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人

2022年調査・2024年調査に続き TOP3 は「今田耕司さん」「明石家さんまさん」「天海祐希さん」、
「今田耕司さん」が 2026 年調査では 1 位に

おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人を聞いたところ、1位「今田耕司さん」、2位「明石家さんまさん」、3位「天海祐希さん」、4位「大久保佳代子さん」、5位「いとうあさこさん」となりました。

過去の調査結果と比較すると、2022年調査・2024年調査と同様にTOP3には「明石家さんまさん」「今田耕司さん」「天海祐希さん」が挙がりましたが、今回調査では1位と2位の順位が入れ替わり「今田耕司さん」が1位でした。

Q. おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人は？

2022年調査			2024年調査			2026年調査		
1位	明石家さんま	293名	1位	明石家さんま	205名	1位	今田耕司	199名
2位	今田耕司	242名	2位	今田耕司	173名	2位	明石家さんま	164名
3位	天海祐希	149名	3位	天海祐希	143名	3位	天海祐希	143名
4位	久本雅美	148名	4位	中居正広	130名	4位	大久保佳代子	95名
5位	中居正広	125名	5位	いとうあさこ	104名	5位	いとうあさこ	80名

調査結果 index

◆おひとりさまの生活について

……p.5～11

- ・おひとりさまの生活満足度 満足層は全体の46% 男性では兵庫県が1位、女性では鳥取県が1位
- ・おひとりさまの満足度実感 「時間のゆとり」は44%、「家計のゆとり」は22%、「人間関係」は31%、「地域とのつながり」は24%、「心身の健康」は30%が“満足”と回答
- ・自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”を100点満点で評価すると？ 全体平均は52.0点
“やさしさ”実感の評価が高い都道府県 1位「宮城県」61.6点、2位「大阪府」59.5点、3位「東京都」59.0点
- ・“独身でいることの良さ”を実感したエピソード
「突発的に旅行ができる」「こんな仕事やめてやる、で仕事をやめられた」
「ひとりでいるときなら人の悪口を聞かない」「トイレの順番を待たなくて良い」など

◆結婚について

……p.12～18

- ・“結婚＝幸せ”ではないと思う76% 男性では滋賀県・岡山県、女性では鳥取県が最も高い結果に
- ・「結婚しないと思う」75%、20代男性・30代男性では2022年調査から約10ポイント上昇
- ・結婚していない理由 1位「自分は結婚に向かないと思う」2位「自由に時間を使いたい」
男性では「自分の収入が少ない」、女性では「他人と一緒に生活したくない」が高い傾向
- ・「万が一のときに頼る相手がいる」64%、40代男性では56%にとどまる
万が一のときに頼る相手 「家族・親族」が突出、2位「友人・知人」3位「行政機関」
男女ともに20代では「生成AI」が3位

◆マネー事情について

……p.19～27

- ・おひとりさまの現在の貯蓄額 4人に1人が「ない」 全体の平均は664万円、2022年調査から43万円減少
都道府県別では1位「東京都」1,242万円、2位「京都府」1,167万円、3位「長崎県」1,124万円
- ・老後に備えてリタイアまでに準備したいお金 平均金額は全体2,203万円、男性2,508万円、女性1,898万円
都道府県別では1位「長崎県」3,558万円、
他方、“老後に備えてリタイアまでに準備したいお金”と“現在の貯蓄額”の差でも長崎県が2,434万円で1位に
- ・おひとりさまの支出実態
“友人との交流”“ストレス発散”には「お金を使う」が多数派、
“旅行・レジャー”“健康増進”には「お金を使わない」が多数派
- ・1カ月の平均支出額
「友人との交流」7,359円、「旅行・レジャー」10,788円、「健康増進」3,380円、「ストレス発散」8,334円
- ・1カ月に友人との交流に使っているお金（平均）
1位「北海道」13,260円、2位「神奈川県」11,800円、3位「大阪府」10,265円

- ・1カ月に旅行・レジャーに使っているお金（平均）、1カ月に健康増進のために使っているお金（平均）、1カ月にストレス発散に使っているお金（平均）の3項目で「神奈川県」がトップに

◆“ひとり○○”について

……p.28～29

- ・一人で行う“ひとり○○”に抵抗を感じる？

“ひとり海外旅行”“ひとりバイキング・ビュッフェ”“ひとりコース料理”“ひとり遊園地”は「抵抗がある」が多数派

◆“子ども・子育て支援金”について

……p.30

- ・“子ども・子育て支援金”（通称：独身税）に対する意識

「公平な仕組みだと思う」17%、「不公平な仕組みだと思う」39%

不公平感は男性・女性ともに40代で高く、40代女性では「不公平な仕組みだと思う」が49%に

◆“おひとりさまあるある”について

……p.31～32

- ・“おひとりさまあるある”

1位「ふと将来が不安になることがある」2位「よく独り言を言う」3位「つい無駄遣いをしてしまう」

◆“おひとりさま”ゆえに経験したショックな出来事について

……p.33

- ・“おひとりさま”ゆえにこれまでに経験したことがあるショックな出来事

1位「『気楽でいいなあ』と言われた」2位「『自由にお金を使えてうらやましい』と言われた」

女性では「既婚者に上から目線で接せられた」が男性より高い傾向

◆“おひとりさま”と芸能人

……p.34～37

- ・おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人

2022年調査・2024年調査に続きTOP3は「今田耕司さん」「明石家さんまさん」「天海祐希さん」、
「今田耕司さん」が2026年調査では1位に

- ・おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人

男性回答1位は「新垣結衣さん」、2位は「福山雅治さん」

女性回答1位は「福山雅治さん」、2位は「田中みな実さん」

- ・おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人

1位「ファーストサマーウイカさん」2位「鈴木亮平さん」3位「志田未来さん」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆おひとりさまの生活について

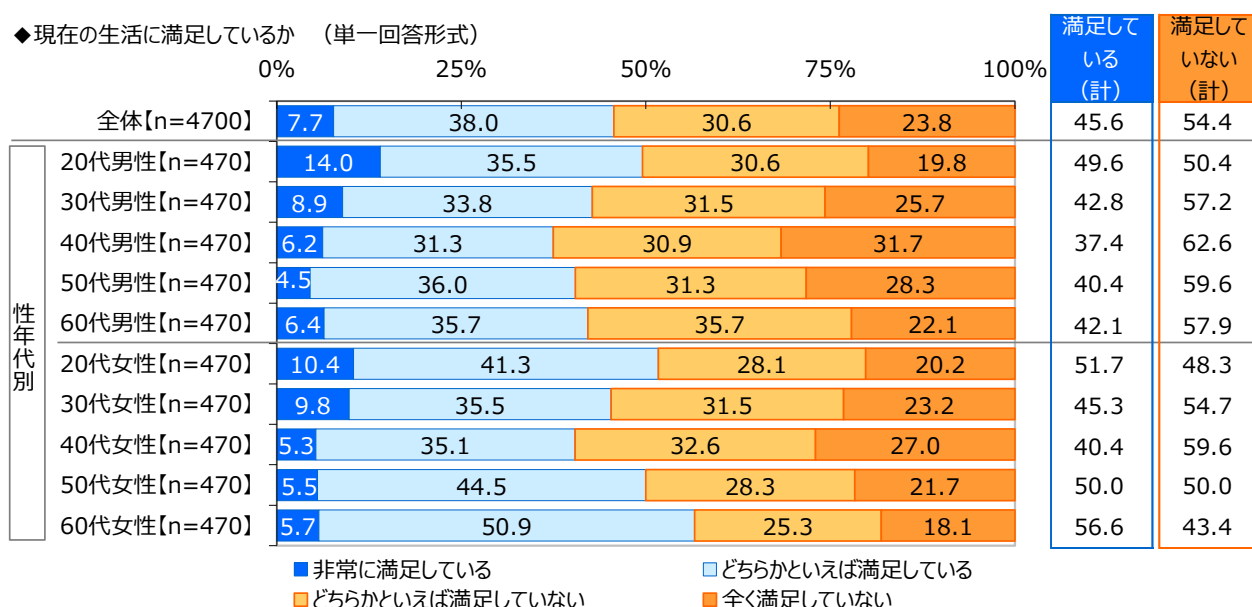
・おひとりさまの生活満足度 満足層は全体の 46% 男性では兵庫県が 1 位、女性では鳥取県が 1 位

全国の 20 歳～69 歳の未婚男女 4,700 名（全回答者）に対し、おひとりさまの生活について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、現在の生活に満足しているか聞いたところ、「非常に満足している」が 7.7%、「どちらかといえば満足している」が 38.0%で、合計した『満足している（計）』は 45.6%、「全く満足していない」が 23.8%、「どちらかといえば満足していない」が 30.6%で、合計した『満足していない（計）』は 54.4%となりました。

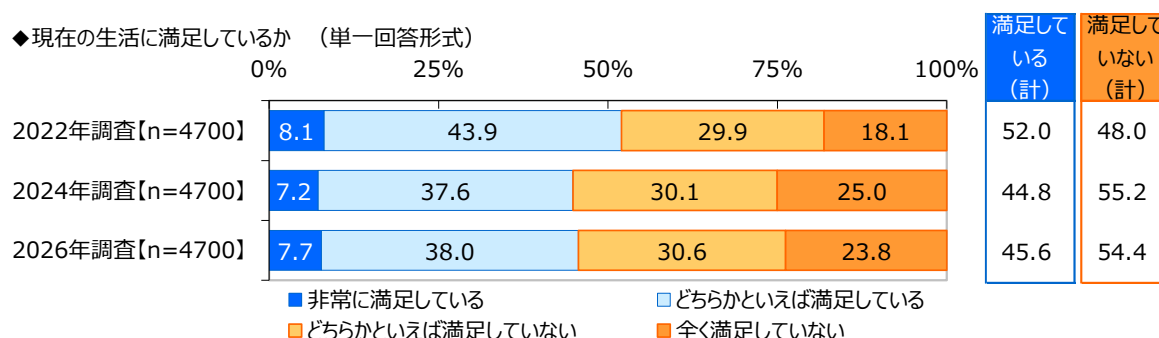
性年代別にみると、現在の生活に満足している人の割合は、すべての年代で女性が男性より高くなり、特に 60 代（男性 42.1%、女性 56.6%）では 14.5 ポイントの差がみられました。

◆現在の生活に満足しているか（単一回答形式）



過去の調査結果と比較すると、満足している人の割合は、2022 年 52.0%→2024 年 44.8%→2026 年 45.6%と、前回調査と同水準でした。

◆現在の生活に満足しているか（単一回答形式）



※2022 年調査：『おひとりさまに関する調査 2022』（2022 年 12 月 22 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20221222.pdf

※2024 年調査：『おひとりさまに関する調査 2024』（2024 年 12 月 19 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20241219.pdf

男女・都道府県別にみると、現在の生活に満足している人の割合が最も高くなったのは、男性では兵庫県（58.0％）、女性では鳥取県（62.0％）、最も低くなったのは、男性では同率で愛知県、広島県、山口県、高知県（いずれも32.0％）、女性では愛媛県（28.0％）となりました。

前回の調査結果と比較すると、男性では兵庫県（2024 年 1 位、2026 年 1 位）が連続で 1 位となりました。

◆現在の生活に満足している人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】					
		%			%
1位	兵庫県	58.0	11位	山形県	46.0
2位	埼玉県	56.0		山梨県	46.0
3位	石川県	52.0		岐阜県	46.0
	福岡県	52.0	16位	香川県	46.0
5位	長崎県	50.0		徳島県	44.0
6位	群馬県	48.0		大分県	44.0
	富山県	48.0	19位	宮崎県	44.0
	京都府	48.0		茨城県	42.0
	大阪府	48.0		千葉県	42.0
	熊本県	48.0		東京都	42.0
11位	青森県	46.0		福井県	42.0
				静岡県	42.0
			19位	和歌山県	42.0
				愛媛県	42.0
				鹿児島県	42.0
			28位	沖縄県	42.0
				岩手県	40.0
				福島県	40.0
			42位	新潟県	40.0
				滋賀県	40.0
				奈良県	40.0
				鳥取県	40.0
				島根県	40.0
				岡山県	40.0
			36位	宮城県	38.0
				秋田県	38.0
				神奈川県	38.0
				長野県	38.0
				三重県	38.0
			44位	佐賀県	38.0
				北海道	36.0
				栃木県	36.0
				愛知県	32.0
				広島県	32.0
				山口県	32.0
				高知県	32.0

女性・各都道府県【n=50】					
		%			%
1位	鳥取県	62.0	12位	宮城県	52.0
2位	新潟県	60.0		秋田県	52.0
3位	三重県	58.0		富山県	52.0
	兵庫県	58.0		山梨県	52.0
	宮崎県	58.0		和歌山県	52.0
6位	長野県	56.0	20位	広島県	52.0
7位	群馬県	54.0		福岡県	52.0
	福井県	54.0		熊本県	52.0
	大阪府	54.0		北海道	50.0
	奈良県	54.0		埼玉県	50.0
	長崎県	54.0		東京都	50.0
				神奈川県	50.0
			29位	石川県	50.0
				静岡県	50.0
				愛知県	50.0
				京都府	50.0
				岡山県	50.0
			35位	福島県	48.0
				茨城県	48.0
				千葉県	48.0
				岐阜県	48.0
				鹿児島県	48.0
				沖縄県	48.0
				徳島県	46.0
			37位	佐賀県	46.0
				香川県	44.0
				大分県	44.0
				岩手県	42.0
				滋賀県	42.0
			41位	青森県	40.0
				山形県	40.0
			43位	山口県	38.0
				高知県	38.0
			45位	島根県	36.0
				栃木県	34.0
			47位	愛媛県	28.0

【2024年調査】

◆現在の生活に満足している人の割合 ※上位10位までを表示

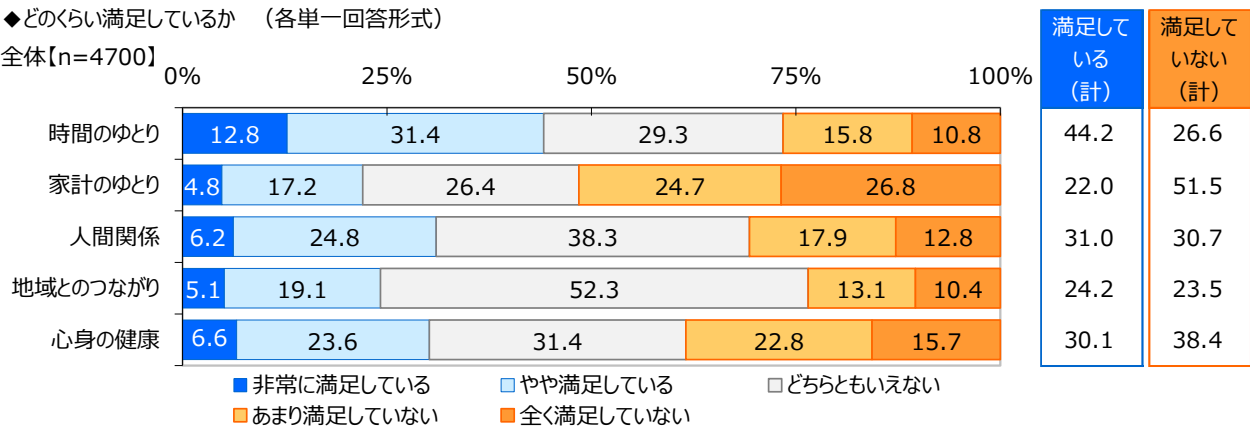
男性・各都道府県【n=50】			女性・各都道府県【n=50】		
		%			%
1位	兵庫県	62.0	1位	神奈川県	64.0
2位	神奈川県	54.0	2位	京都府	62.0
3位	広島県	50.0		愛媛県	62.0
4位	岩手県	48.0		大分県	62.0
	石川県	48.0	5位	福岡県	60.0
	京都府	48.0	6位	滋賀県	58.0
8位	鹿児島県	48.0	8位	宮崎県	58.0
	宮城県	46.0		栃木県	56.0
	山形県	46.0		熊本県	56.0
	福島県	46.0	10位	山梨県	54.0
	東京都	46.0		奈良県	54.0
	山梨県	46.0		高知県	54.0
	三重県	46.0			
	愛媛県	46.0			
	福岡県	46.0			
	熊本県	46.0			

・おひとりさまの満足度実感 「時間のゆとり」は 44%、「家計のゆとり」は 22%、「人間関係」は 31%、
「地域とのつながり」は 24%、「心身の健康」は 30%が“満足”と回答

次に、全回答者（4,700 名）に、おひとりさまの生活について、複数の項目を提示し、満足度を聞きました。

【時間のゆとり】についてみると、『満足している（計）』は 44.2%、『満足していない（計）』は 26.6%となりました。他方、【家計のゆとり】では、『満足している（計）』は 22.0%、『満足していない（計）』は 51.5%と、不満層が半数以上となりました。時間的な余裕については満足層の割合が不満層を上回った一方、経済面については不満層が満足層の 2 倍以上という結果となりました。

また、【人間関係】では、『満足している（計）』が 31.0%、『満足していない（計）』が 30.7%、【地域とのつながり】では『満足している（計）』が 24.2%、『満足していない（計）』が 23.5%となりました。【心身の健康】についてみると、『満足している（計）』が 30.1%、『満足していない（計）』が 38.4%で、満足層を不満層が 8.3 ポイント上回りました。



それぞれの項目について、都道府県別に満足度をみると、【時間のゆとり】では、「満足している」と回答した人の割合は同率で和歌山県、鳥取県、大分県（いずれも 53.0%）が 1 位となった一方、「満足していない」と回答した人の割合は滋賀県（35.0%）が 1 位でした。また、【家計のゆとり】では、「満足している」と回答した人の割合は奈良県（30.0%）が最も高く、「満足していない」と回答した人の割合は佐賀県（61.0%）が最も高くなりました。

◆【時間のゆとり】に対する満足度 （単一回答形式）

各都道府県【n=100】 ※各上位10位までを表示

「満足している」と回答した人の割合			「満足していない」と回答した人の割合		
		%			%
1位	和歌山県	53.0	1位	滋賀県	35.0
	鳥取県	53.0	2位	青森県	34.0
	大分県	53.0	3位	京都府	33.0
4位	三重県	51.0	4位	山形県	32.0
5位	栃木県	49.0		福島県	32.0
	富山県	49.0		山口県	32.0
	宮崎県	49.0		熊本県	32.0
8位	群馬県	48.0	8位	秋田県	31.0
	静岡県	48.0		神奈川県	31.0
	島根県	48.0		岡山県	31.0
	沖縄県	48.0			

◆【家計のゆとり】に対する満足度 （単一回答形式）

各都道府県【n=100】 ※各上位10位までを表示

「満足している」と回答した人の割合			「満足していない」と回答した人の割合		
		%			%
1位	奈良県	30.0	1位	佐賀県	61.0
2位	三重県	29.0	2位	北海道	59.0
	兵庫県	29.0		福島県	59.0
4位	茨城県	28.0	4位	宮城県	58.0
	大阪府	28.0		秋田県	58.0
	徳島県	28.0		島根県	58.0
7位	石川県	27.0		山口県	58.0
	宮崎県	27.0	8位	神奈川県	57.0
9位	埼玉県	26.0		滋賀県	57.0
	鳥取県	26.0		和歌山県	57.0

【人間関係】では、「満足している」と回答した人の割合は埼玉県（47.0%）が最も高く、「満足していない」と回答した人の割合は広島県（42.0%）が最も高くなりました。また、【地域とのつながり】では、「満足している」と回答した人の割合は長野県（37.0%）、「満足していない」と回答した人の割合は栃木県（31.0%）が1位でした。

◆【人間関係】に対する満足度（単一回答形式）

各都道府県【n=100】 ※各上位10位までを表示

「満足している」と回答した人の割合			「満足していない」と回答した人の割合		
		%			%
1位	埼玉県	47.0	1位	広島県	42.0
2位	兵庫県	41.0	2位	岡山県	38.0
	宮崎県	41.0	3位	福島県	37.0
4位	東京都	40.0		高知県	37.0
5位	神奈川県	37.0	5位	秋田県	36.0
	滋賀県	37.0		福井県	36.0
	福岡県	37.0		愛知県	36.0
8位	佐賀県	35.0		島根県	36.0
	大分県	35.0	9位	大分県	35.0
10位	新潟県	34.0	10位	山口県	34.0
	山梨県	34.0		香川県	34.0
	長野県	34.0		佐賀県	34.0
	静岡県	34.0			
	和歌山県	34.0			

◆【地域とのつながり】に対する満足度（単一回答形式）

各都道府県【n=100】 ※各上位10位までを表示

「満足している」と回答した人の割合			「満足していない」と回答した人の割合		
		%			%
1位	長野県	37.0	1位	栃木県	31.0
2位	奈良県	32.0	2位	岩手県	30.0
3位	山梨県	30.0	3位	秋田県	29.0
	宮崎県	30.0		山口県	29.0
5位	山形県	29.0	5位	福島県	28.0
	群馬県	29.0		富山県	28.0
	福岡県	29.0		岐阜県	28.0
8位	宮城県	28.0		和歌山県	28.0
	栃木県	28.0	9位	石川県	27.0
	石川県	28.0	10位	青森県	26.0
				福井県	26.0
				熊本県	26.0

【心身の健康】では、「満足している」と回答した人の割合は埼玉県と京都府（いずれも 40.0%）が同率で 1 位となった一方、「満足していない」と回答した人の割合は高知県（51.0%）が 1 位となり、高知県では満足していない人が半数以上となりました。

◆【心身の健康】に対する満足度（単一回答形式）

各都道府県【n=100】 ※各上位10位までを表示

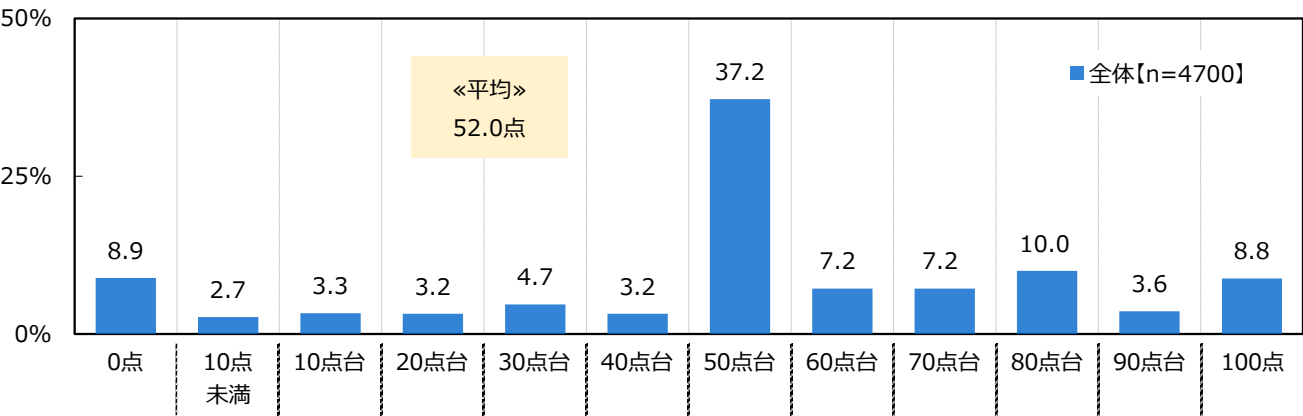
「満足している」と回答した人の割合			「満足していない」と回答した人の割合		
		%			%
1位	埼玉県	40.0	1位	高知県	51.0
	京都府	40.0	2位	鹿児島県	49.0
3位	鳥取県	37.0	3位	青森県	48.0
	宮崎県	37.0		秋田県	48.0
5位	静岡県	36.0	5位	宮城県	47.0
	兵庫県	36.0	6位	新潟県	46.0
7位	奈良県	35.0	7位	島根県	45.0
	沖縄県	35.0	8位	福井県	44.0
9位	長野県	34.0		山口県	44.0
	愛知県	34.0	10位	岩手県	43.0
	和歌山県	34.0		愛知県	43.0
	長崎県	34.0			

・自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”を 100 点満点で評価すると？ 全体平均は 52.0 点
“やさしさ”実感の評価が高い都道府県 1 位「宮城県」61.6 点、2 位「大阪府」59.5 点、3 位「東京都」59.0 点

全回答者（4,700 名）に、自身の居住都道府県は独身の人に対して“やさしい”と思うか、100 点満点（0 点：全然やさしくない～100 点：とてもやさしい）で評価すると何点が聞いたところ、「50 点台」（37.2%）が突出し、平均は 52.0 点でした。また、「0 点」（8.9%）や「80 点台」（10.0%）、「100 点」（8.8%）にも回答がやや多くみられました。

「100 点」とした理由についてみると、「自分の活動を支えてくれる人がある」（30 代女性・山形県）や「生活していてストレスを感じない」（60 代女性・神奈川県）、「結婚を催促されない」（40 代男性・高知県）、「自由な町なので、やさしいと感じます」（20 代女性・岐阜県）、「一人暮らしのメリットを全て備えている」（60 代男性・東京都）、「娛樂が多い。独身が多いので肩身が狭くない」（30 代男性・大阪府）、「独身でも気にしない方が多い気がします」（40 代男性・宮城県）、「地域の人たちは優しい」（50 代女性・福岡県）、「足りない物はない」（50 代女性・大阪府）、「物価が安い」（20 代女性・島根県）といった回答がありました。

◆自身の居住都道府県は独身の人に対して“やさしい”と思うか、
100点満点（0点：全然やさしくない～100点：とてもやさしい）で評価すると何点が （数値入力形式）



都道府県別に平均の点数をみると、1 位は宮城県（61.6 点）で 60 点を上回りました。以降、2 位が大阪府（59.5 点）、3 位が東京都（59.0 点）、4 位が静岡県（58.5 点）、5 位が福岡県（58.2 点）となりました。

◆自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”実感の評価（平均点） （数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		点			点			点			点
1位	宮城県	61.6	12位	茨城県	53.9	23位	三重県	52.0	36位	栃木県	48.8
				神奈川県	53.9	25位	沖縄県	51.6		広島県	48.8
2位	大阪府	59.5	14位	香川県	53.8	26位	群馬県	51.5	38位	島根県	48.5
3位	東京都	59.0	15位	熊本県	53.5	27位	新潟県	51.3	39位	滋賀県	48.0
4位	静岡県	58.5	16位	佐賀県	53.4	28位	秋田県	51.1	39位	徳島県	48.0
5位	福岡県	58.2	17位	愛媛県	53.3		埼玉県	51.1	41位	奈良県	47.6
6位	北海道	58.0	18位	長野県	52.9	30位	長崎県	50.9	42位	青森県	47.1
7位	宮崎県	57.7	19位	岐阜県	52.7	31位	富山県	50.5	43位	山梨県	46.9
8位	石川県	55.7	20位	高知県	52.6	32位	岡山県	50.4		山口県	46.9
9位	京都府	55.1	21位	大分県	52.3	33位	福島県	50.0	45位	岩手県	46.6
10位	愛知県	54.6	22位	鳥取県	52.2		福井県	50.0	46位	山形県	45.5
11位	兵庫県	54.0	23位	千葉県	52.0	35位	鹿児島県	49.8	47位	和歌山県	45.0

また、「100点」と回答した人の割合と「0点」と回答した人の割合をみると、「100点」と回答した人の割合は1位が東京都（16.0%）、2位が北海道と静岡県（いずれも15.0%）、「0点」と回答した人の割合は1位が岩手県（16.0%）、2位が青森県（14.0%）、3位が栃木県と和歌山県（いずれも13.0%）でした。

◆自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”美感的評価（数値入力形式）

各都道府県【n=100】 ※各上位10位までを表示

「100点」を回答した人の割合

		%
1位	東京都	16.0
2位	北海道	15.0
	静岡県	15.0
4位	宮城県	14.0
5位	兵庫県	13.0
	埼玉県	12.0
6位	愛知県	12.0
	香川県	12.0
	福岡県	12.0
10位	愛媛県	11.0
	宮崎県	11.0

「0点」を回答した人の割合

		%
1位	岩手県	16.0
2位	青森県	14.0
3位	栃木県	13.0
	和歌山県	13.0
	神奈川県	12.0
5位	山口県	12.0
	大分県	12.0
8位	三重県	11.0
	岡山県	11.0
	広島県	11.0
	香川県	11.0

男女・都道府県別にみると、平均は男性では1位が宮城県（60.2点）、2位が宮崎県（59.9点）、3位が愛媛県（58.3点）、女性では1位が大阪府（63.3点）、2位が宮城県（63.0点）、3位が北海道（61.0点）となり、宮城県が男女ともTOP2に挙がる結果となりました。

◆自身の居住都道府県の独身の人に対する“やさしさ”美感的評価（平均点）（数値入力形式）

男性・各都道府県【n=50】

		点			点			点			点
1位	宮城県	60.2	11位	福岡県	55.8	24位	島根県	53.3	36位	青森県	50.5
			13位	佐賀県	55.7	25位	高知県	53.1	37位	山梨県	49.8
2位	宮崎県	59.9	14位	熊本県	55.4	26位	福井県	52.9	38位	岩手県	49.7
3位	愛媛県	58.3		茨城県	55.1		愛知県	52.8	39位	群馬県	48.8
	新潟県	57.5	15位	三重県	55.1	27位	鳥取県	52.8	40位	長崎県	48.0
4位	香川県	57.5	17位	京都府	55.0		大分県	52.5	41位	滋賀県	47.7
6位	東京都	57.4		北海道	54.9	29位	沖縄県	52.5	42位	長野県	47.5
7位	静岡県	56.9	18位	福島県	54.9	31位	埼玉県	52.2	43位	奈良県	47.2
8位	兵庫県	56.7		山形県	54.6	32位	山口県	51.9		岡山県	47.2
9位	岐阜県	56.4	20位	石川県	54.6		栃木県	50.9	45位	鹿児島県	46.5
10位	秋田県	56.2	22位	千葉県	54.2	33位	富山県	50.9	46位	和歌山県	42.9
11位	大阪府	55.8	23位	徳島県	53.7	35位	神奈川県	50.7	47位	広島県	42.5

女性・各都道府県【n=50】

		点			点			点			点
1位	大阪府	63.3	12位	京都府	55.2	24位	佐賀県	51.1	36位	福井県	47.0
				広島県	55.2	25位	沖縄県	50.6	37位	栃木県	46.7
2位	宮城県	63.0	14位	群馬県	54.1	26位	富山県	50.2	38位	秋田県	46.0
3位	北海道	61.0	15位	長崎県	53.8	27位	香川県	50.0	39位	新潟県	45.1
4位	東京都	60.7	16位	岡山県	53.6	28位	埼玉県	49.9	40位	福島県	45.0
5位	福岡県	60.6	17位	鹿児島県	53.1	29位	千葉県	49.8	41位	山梨県	43.9
6位	静岡県	60.1	18位	茨城県	52.7	30位	岐阜県	49.0	42位	青森県	43.8
7位	長野県	58.3	19位	大分県	52.2	31位	三重県	48.9	43位	島根県	43.6
8位	神奈川県	57.1	20位	高知県	52.1	32位	滋賀県	48.3	44位	岩手県	43.4
9位	石川県	56.9	21位	鳥取県	51.6		愛媛県	48.3	45位	徳島県	42.3
10位	愛知県	56.4	22位	熊本県	51.5	34位	奈良県	48.0	46位	山口県	41.8
11位	宮崎県	55.5	23位	兵庫県	51.4	35位	和歌山県	47.1	47位	山形県	36.3

・“独身でいることの良さ”を実感したエピソード

「突発的に旅行ができる」「こんな仕事やめてやる、で仕事をやめられた」

「ひとりでいるときなら人の悪口を聞かない」「トイレの順番を待たなくて良い」など

全回答者（4,700名）に、“独身でいることの良さ”を実感したエピソードを聞いたところ、＜趣味に関すること＞では「自分の参加したいイベントが遠方だったり、宿泊を伴うものであっても躊躇なく参加できる」や「突発的に旅行ができる」といった回答がありました。

＜お金・仕事に関すること＞では「こんな仕事やめてやる、で仕事をやめられた」や「早期退職し自由で気楽にキャンピングカーで日本中を旅しています」、「失業等で経済的に困窮した場合でも、全て自己完結できた」といったエピソードがありました。仕事について誰かに気兼ねすることなく決定できることや、自分以外の人を経済的な苦境に巻き込まないことなどが挙げられました。

＜婚姻関係・人間関係に関すること＞では「ひとりの時間や友達との時間に余裕ができる」や「ひとりでいるときなら人の悪口を聞かない」、「離婚している知り合いが苦労しているのを見聞きた」といったエピソードがありました。

＜普段の生活に関すること＞では「トイレの順番を待たなくて良い」や「猫と一緒にいられる」、「自由に行動ができる。親の介護が可能だった」といったエピソードがありました。日常生活における多様な場面で自由さや気楽さといった独身生活の良さを実感している人が多いようです。

◆“独身でいることの良さ”を実感したエピソード（自由回答形式） ※抜粋して表示

＜趣味に関すること＞

自由な時間が多く、自分磨きができて楽しい（30代女性・北海道） 突発的に旅行ができる（20代女性・千葉県）
お金を自分のためだけに使える。推し活や甥っ子など（30代女性・茨城県）
好きなアーティストの応援に自分の時間を全部使うことができる（20代女性・沖縄県）
自分の参加したいイベントが遠方だったり、宿泊を伴うものであっても躊躇なく参加できる（40代男性・広島県）

＜お金・仕事に関すること＞

会社をやめてFIREしても説教する人がいない（50代男性・福岡県） こんな仕事やめてやる、で仕事をやめられた（50代女性・徳島県）
早期退職し自由で気楽にキャンピングカーで日本中を旅しています（50代男性・島根県）
失業等で経済的に困窮した場合でも、全て自己完結できた（60代男性・和歌山県）

＜婚姻関係・人間関係に関すること＞

ひとりでいるときなら人の悪口を聞かない（30代女性・山口県） ひとりの時間や友達との時間に余裕ができる（20代女性・大阪府）
友達と遊んだり家でダラダラしたり自分の時間がある（40代女性・奈良県） ケンカをしなくて済む（30代男性・佐賀県）
離婚している知り合いが苦労しているのを見聞きた（40代男性・長崎県）

＜普段の生活に関すること＞

トイレの順番を待たなくて良い（60代女性・熊本県） 猫と一緒にいられる（20代女性・大分県）
自由に行動ができる。親の介護が可能だった（50代女性・山形県） 自分のためにおしゃれができる（20代女性・京都府）
好きな時間に寝て起き、好きなものを食べ、好きな動画を観ていても文句を言う人がいない（40代男性・滋賀県）

◆結婚について

・「“結婚＝幸せ”ではないと思う」76% 男性では滋賀県・岡山県、女性では鳥取県が最も高い結果に

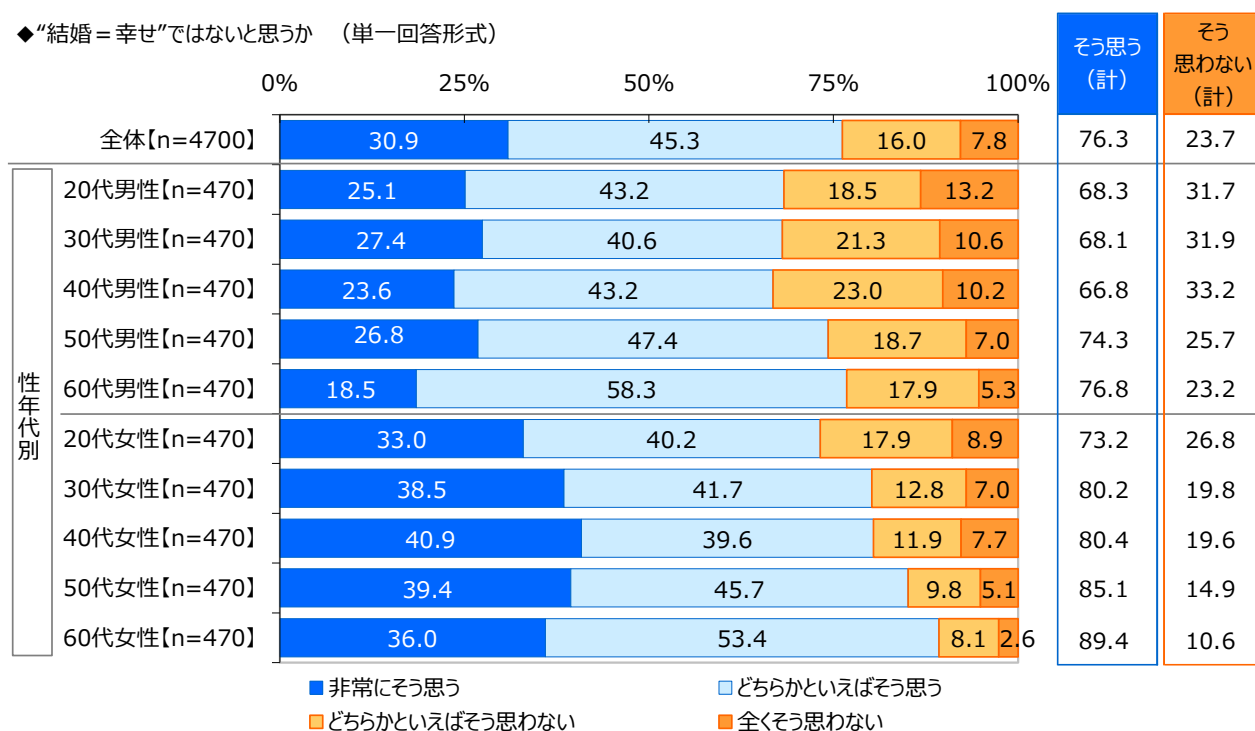
・「結婚しないと思う」75%、20代男性・30代男性では2022年調査から約10ポイント上昇

結婚について質問しました。

全回答者（4,700名）に、“結婚＝幸せ”ではないと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」が30.9%、「どちらかといえばそう思う」が45.3%で、合計した『そう思う（計）』は76.3%、「全くそう思わない」が7.8%、「どちらかといえばそう思わない」が16.0%で、合計した『そう思わない（計）』は23.7%となりました。

性年代別にみると、『そう思う（計）』と回答した人の割合は、40代以下の男性では6割台にとどまりました。女性では年代が上がるにつれて『そう思う（計）』と回答した人の割合が高くなる傾向がみられ、60代（89.4%）では9割に近くなりました。また、すべての年代で男性より女性のほうが高くなり、30代以上ではそれぞれ10ポイント以上の差が開きました。

◆“結婚＝幸せ”ではないと思うか（単一回答形式）



男女・都道府県別にみると、“結婚＝幸せ”ではないと思う人の割合が最も高くなったのは、男性では同率で滋賀県、岡山県（いずれも 84.0%）、女性では鳥取県（92.0%）でした。他方、“結婚＝幸せ”ではないと思う人の割合が最も低くなったのは、男性では山形県（54.0%）、女性では岩手県（68.0%）でした。

◆“結婚＝幸せ”ではないと思う人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

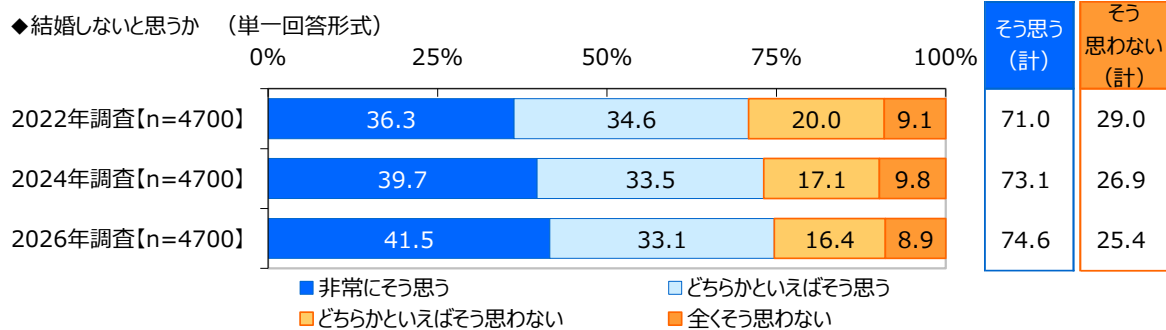
		%			%			%			%
1位	滋賀県 岡山県	84.0	10位	熊本県	76.0	24位	北海道	70.0	34位	福井県	66.0
			13位	岩手県	74.0		神奈川県	70.0		鳥取県	66.0
				石川県	74.0		大阪府	70.0		宮城県	64.0
3位	京都府	82.0	18位	愛知県	74.0	28位	宮崎県	70.0	38位	秋田県	64.0
	山口県	82.0		和歌山県	74.0		青森県	68.0		徳島県	64.0
	鹿児島県	82.0		愛媛県	74.0		群馬県	68.0		高知県	64.0
6位	山梨県	80.0	18位	福島県	72.0	28位	千葉県	68.0	43位	大分県	64.0
	広島県	80.0		栃木県	72.0		三重県	68.0		島根県	62.0
8位	岐阜県	78.0		18位	埼玉県		72.0	34位		兵庫県	68.0
	佐賀県	78.0	富山県		72.0	奈良県	68.0		香川県	60.0	
10位	新潟県	76.0	18位		長野県	72.0	34位		茨城県	66.0	47位
	福岡県	76.0		静岡県	72.0	東京都		66.0	山形県	54.0	

女性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%
1位	鳥取県	92.0	11位	神奈川県	84.0	20位	香川県	82.0	33位	静岡県	78.0
2位	千葉県	90.0		富山県	84.0		長崎県	82.0		和歌山県	78.0
	長野県	90.0		山梨県	84.0		大分県	82.0		島根県	78.0
5位	愛知県	90.0	20位	奈良県	84.0	28位	宮崎県	82.0	41位	高知県	78.0
	宮城県	88.0		山口県	84.0		秋田県	80.0		福岡県	78.0
	京都府	86.0		佐賀県	84.0		群馬県	80.0		山形県	76.0
6位	大阪府	86.0	20位	熊本県	84.0	33位	東京都	80.0	46位	石川県	76.0
	広島県	86.0		沖縄県	84.0		岐阜県	80.0		福井県	76.0
	徳島県	86.0		福島県	82.0		三重県	80.0		滋賀県	76.0
11位	鹿児島県	86.0	20位	茨城県	82.0	47位	北海道	78.0	47位	兵庫県	76.0
	栃木県	84.0		埼玉県	82.0		青森県	78.0		愛媛県	74.0
				岡山県	82.0		新潟県	78.0		岩手県	68.0

結婚しないと思うか聞いたところ、『そう思う（計）』は 74.6%、『そう思わない（計）』は 25.4%となりました。

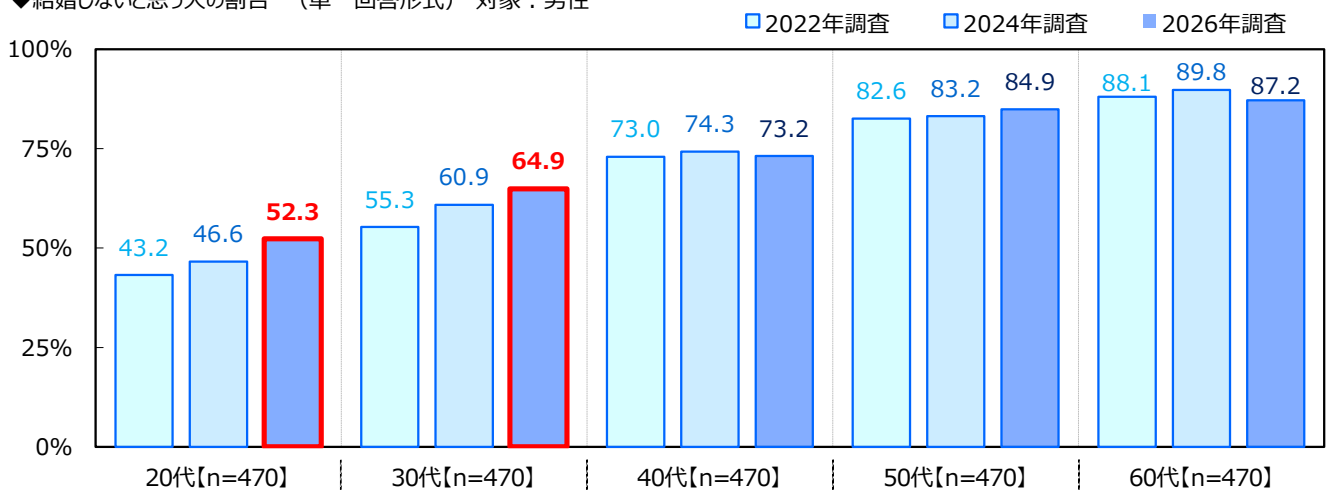
過去の調査結果と比較すると、『そう思う（計）』と回答した人の割合は、2022 年 71.0%→2024 年 73.1%→2026 年 74.6%と、緩やかな上昇傾向がみられました。



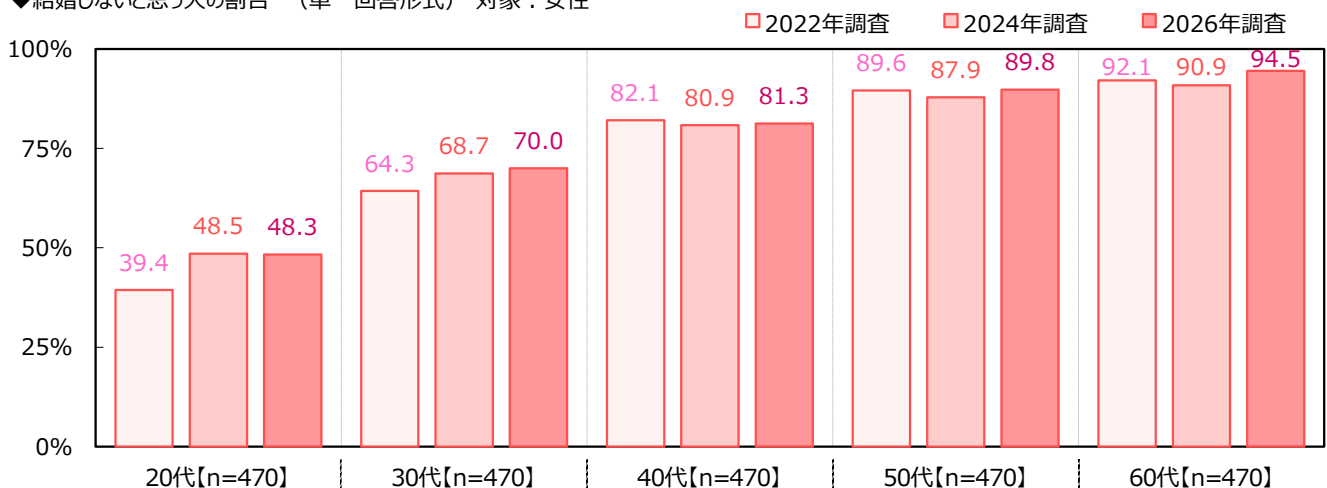
性年代別にみると、結婚しないと思う人の割合は、女性では年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、60 代では 94.5%となりました。

過去の調査結果と比較すると、30 代以下の男性では結婚しないと思う人の割合が 40 代以上と比べて大きく上昇しており、2022 年の調査から、20 代は 9.1 ポイント（2022 年 43.2%→2026 年 52.3%）、30 代は 9.6 ポイント（2022 年 55.3%→2026 年 64.9%）高くなりました。若年層の男性では、結婚に対する意向が低下しているのではないのでしょうか。

◆結婚しないと思う人の割合（単一回答形式） 対象：男性



◆結婚しないと思う人の割合（単一回答形式） 対象：女性



男女・都道府県別にみると、結婚しないと思う人の割合が最も高くなったのは、男性では滋賀県（86.0%）、女性では栃木県（86.0%）でした。他方、結婚しないと思う人の割合が最も低くなったのは、男性では同率で秋田県、千葉県、東京都、京都府、鳥取県（いずれも 64.0%）、女性では岩手県（66.0%）でした。

◆結婚しないと思う人の割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

		%			%			%			%
1位	滋賀県	86.0	7位	熊本県	78.0	22位	奈良県	72.0	35位	高知県	68.0
	神奈川県	82.0		山梨県	76.0		岡山県	72.0		沖縄県	68.0
2位	兵庫県	82.0	13位	長野県	76.0		山口県	72.0		山形県	66.0
	大分県	82.0		静岡県	76.0		北海道	70.0	38位	群馬県	66.0
5位	富山県	80.0		三重県	76.0		茨城県	70.0		福井県	66.0
	愛知県	80.0		宮城県	74.0	27位	大阪府	70.0		愛媛県	66.0
	福島県	78.0		栃木県	74.0		和歌山県	70.0		宮崎県	66.0
	新潟県	78.0	17位	岐阜県	74.0		広島県	70.0		秋田県	64.0
7位	石川県	78.0		島根県	74.0		徳島県	70.0	43位	千葉県	64.0
	香川県	78.0		鹿児島県	74.0		佐賀県	70.0		東京都	64.0
	福岡県	78.0	22位	青森県	72.0		長崎県	70.0		京都府	64.0
				岩手県	72.0	35位	埼玉県	68.0		鳥取県	64.0

女性・各都道府県【n=50】

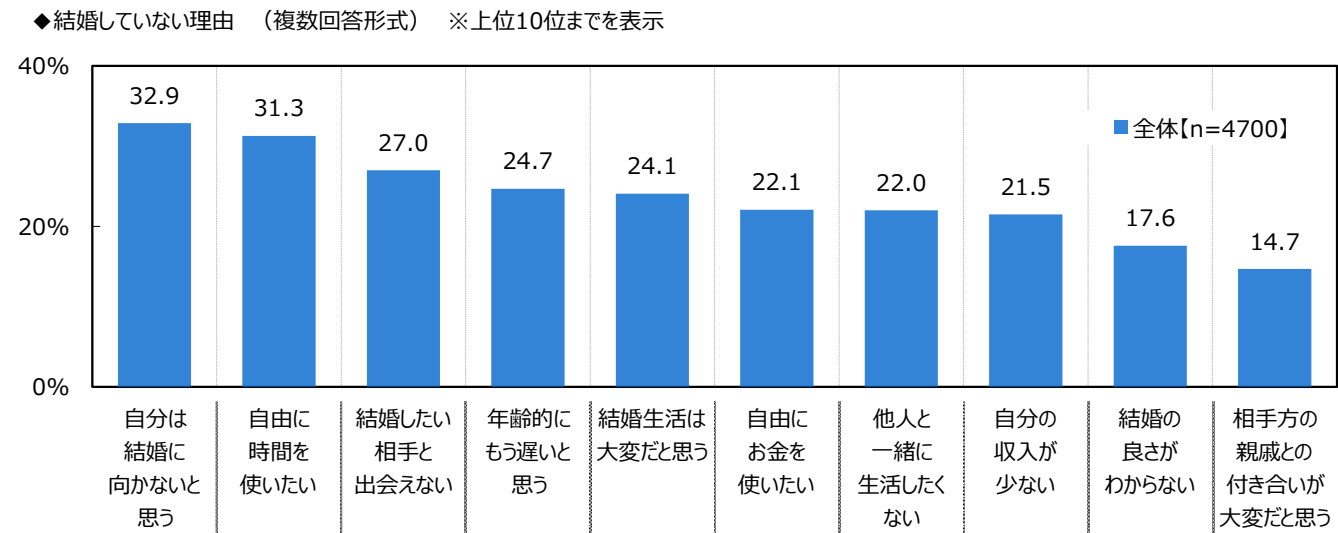
		%			%			%			%
1位	栃木県	86.0		静岡県	80.0	17位	岡山県	78.0	33位	香川県	74.0
	神奈川県	84.0		山口県	80.0		佐賀県	78.0	37位	石川県	72.0
2位	鳥取県	84.0	12位	徳島県	80.0		長崎県	78.0		宮崎県	72.0
	広島県	84.0		高知県	80.0		福島県	76.0		山形県	70.0
	宮城県	82.0		福岡県	80.0	27位	東京都	76.0	39位	埼玉県	70.0
	茨城県	82.0		青森県	78.0		新潟県	76.0		岐阜県	70.0
5位	山梨県	82.0	17位	千葉県	78.0		大阪府	76.0		愛媛県	70.0
	長野県	82.0		富山県	78.0		熊本県	76.0		大分県	70.0
	愛知県	82.0		三重県	78.0		鹿児島県	76.0		北海道	68.0
	京都府	82.0		滋賀県	78.0	33位	秋田県	74.0	44位	福井県	68.0
	沖縄県	82.0		兵庫県	78.0		群馬県	74.0		島根県	68.0
				奈良県	78.0		和歌山県	74.0	47位	岩手県	66.0

・結婚していない理由 1位「自分は結婚に向かないと思う」2位「自由に時間を使いたい」
男性では「自分の収入が少ない」、女性では「他人と一緒に生活したくない」が高い傾向

全回答者（4,700 名）に、結婚していない理由を聞いたところ、「自分は結婚に向かないと思う」（32.9%）が最も高くなり、「自由に時間を使いたい」（31.3%）、「結婚したい相手と出会えない」（27.0%）、「年齢的にもう遅いと思う」（24.7%）、「結婚生活は大変だと思う」（24.1%）が続きました。

男女別にみると、男性では「自分の収入が少ない」（27.4%）が女性（15.5%）より 10 ポイント以上高く、他方、女性では「他人と一緒に生活したくない」（30.3%）が男性（13.6%）より 10 ポイント以上高くなりました。

性年代別にみると、50 代以上の女性では「他人と一緒に生活したくない」（50 代 38.7%、60 代 38.3%）が全体より 15 ポイント以上高くなりました。50 代以上の女性では、プライベートの時間を邪魔されたくないと感じている人が多いのではないのでしょうか。



◆結婚していない理由（複数回答形式） ※上位10位までを表示

		n 数	自分は結婚に向かないと思う	自由に時間を使いたい	結婚したい相手と出会えない	年齢的にもう遅いと思う	結婚生活は大変だと思う	自由にお金を使いたい	他人と一緒に生活したくない	自分の収入が少ない	結婚の良さがわからない	相手方の親戚との付き合いが大変だと思う
男女	全体	4700	32.9	31.3	27.0	24.7	24.1	22.1	22.0	21.5	17.6	14.7
	男性	2350	28.7	28.5	23.5	25.3	20.7	22.4	13.6	27.4	13.2	10.0
	女性	2350	37.1	34.0	30.5	24.2	27.4	21.9	30.3	15.5	22.0	19.4
性年代	20代男性	470	17.7	24.3	16.6	3.6	13.4	19.8	7.0	22.3	8.3	6.4
	30代男性	470	26.6	26.6	22.1	13.6	20.9	24.0	14.0	26.4	14.7	9.1
	40代男性	470	30.0	29.4	25.3	28.1	20.6	24.5	13.6	31.5	15.3	11.1
	50代男性	470	33.2	29.6	24.5	37.7	26.8	23.0	16.8	30.4	16.4	13.2
	60代男性	470	36.2	32.6	29.1	43.4	21.9	20.6	16.6	26.6	11.5	10.2
	20代女性	470	20.2	25.1	23.8	3.4	19.8	22.8	16.6	17.7	15.5	11.3
	30代女性	470	36.6	36.8	29.4	18.7	26.0	25.7	26.6	20.4	22.1	19.4
	40代女性	470	37.2	33.6	33.4	28.7	28.1	21.7	31.3	21.5	25.3	21.7
	50代女性	470	46.0	36.6	35.3	33.6	33.2	18.9	38.7	13.0	26.6	22.1
	60代女性	470	45.5	38.1	30.6	36.6	30.0	20.4	38.3	4.9	20.2	22.3

■ 全体比+10pt以上/ ■ 全体比+5pt以上/ ■ 全体比-5pt以下/ ■ 全体比-10pt以下

(%)

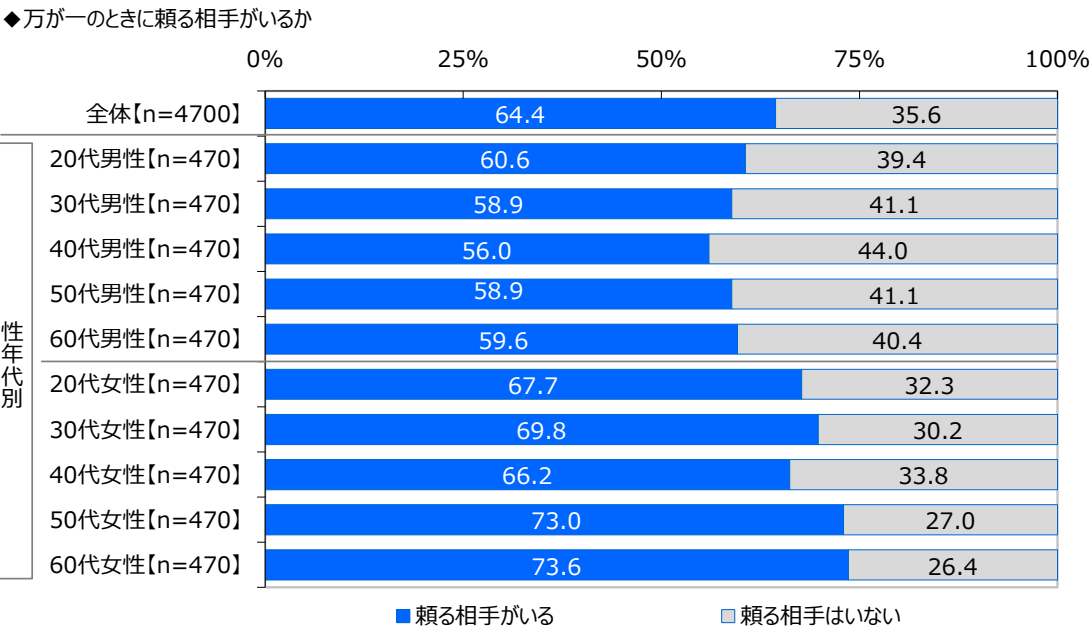
・「万が一のときに頼る相手がいる」64%、40代男性では56%にとどまる

万が一のときに頼る相手「家族・親族」が突出、2位「友人・知人」3位「行政機関」

男女ともに20代では「生成AI」が3位

全回答者（4,700名）に、万が一のときに頼る相手がいるか聞いたところ、「頼る相手がいる」は64.4%、「頼る相手はいない」は35.6%と、約3人に1人が万が一の際に頼る人がいないことがわかりました。

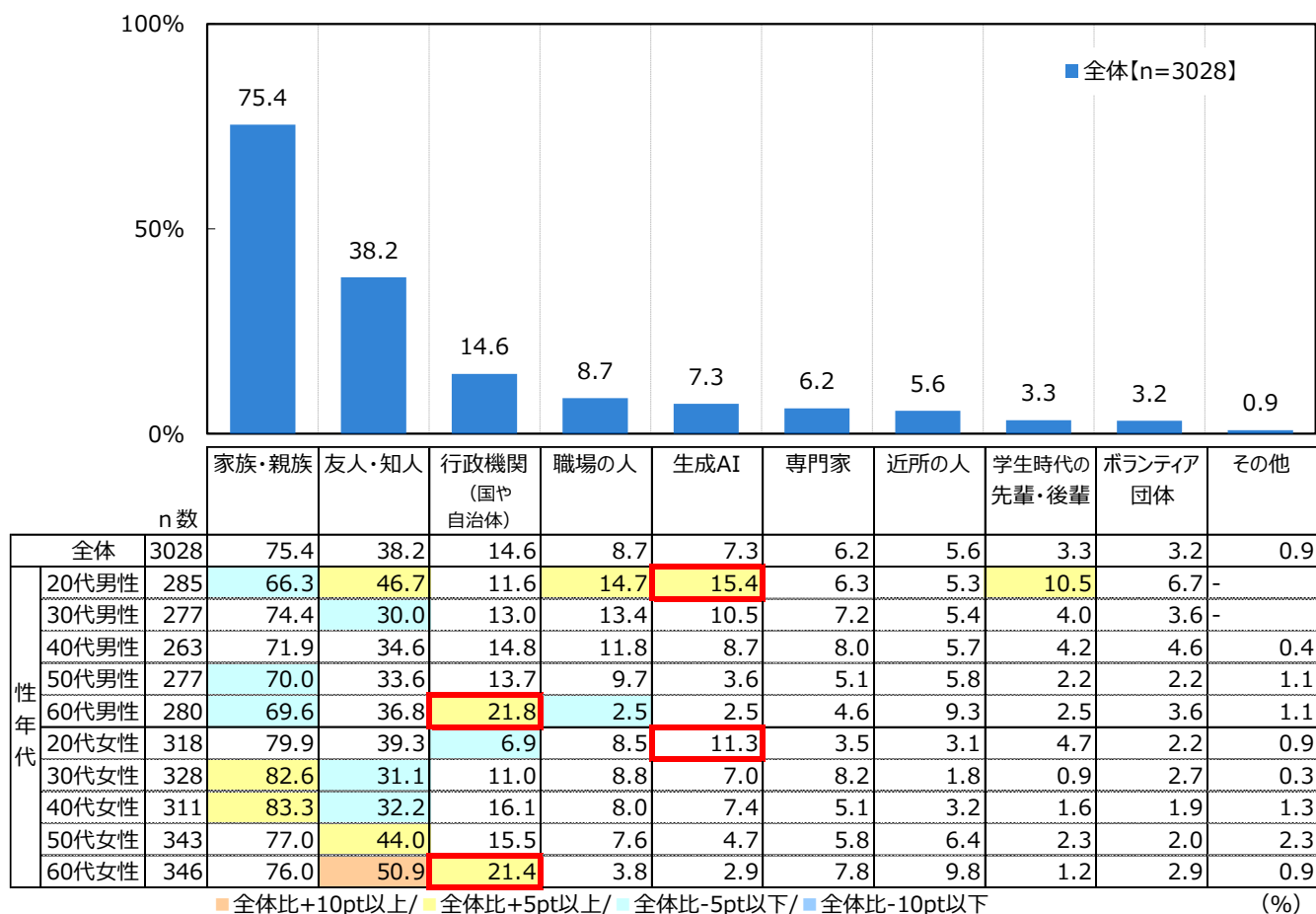
性年代別にみると、「頼る相手がいる」と回答した人の割合は、30代以上の男性では5割台にとどまっており、40代男性では56.0%となりました。他方、50代以上の女性では「頼る相手がいる」と回答した人の割合（50代73.0%、60代73.6%）は7割以上となりました。



万が一のときに頼る相手がいる人（3,028 名）に、頼る相手を聞いたところ、「家族・親族」（75.4%）が突出して高くなり、「友人・知人」（38.2%）、「行政機関」（14.6%）が続きました。

性年代別にみると、20 代では男女ともに、「生成 AI」（男性 15.4%、女性 11.3%）が「家族・親族」と「友人・知人」に続いて 3 位となりました。また、男女ともに 60 代では「行政機関（国や自治体）」（男性 21.8%、女性 21.4%）が他の年代と比べて高くなりました。

◆万が一のときに頼る相手（複数回答形式） 対象：頼る相手がいる人



◆マネー事情について

・おひとりさまの現在の貯蓄額 4人に1人が「ない」 全体の平均は664万円、2022年調査から43万円減少
都道府県別では1位「東京都」1,242万円、2位「京都府」1,167万円、3位「長崎県」1,124万円

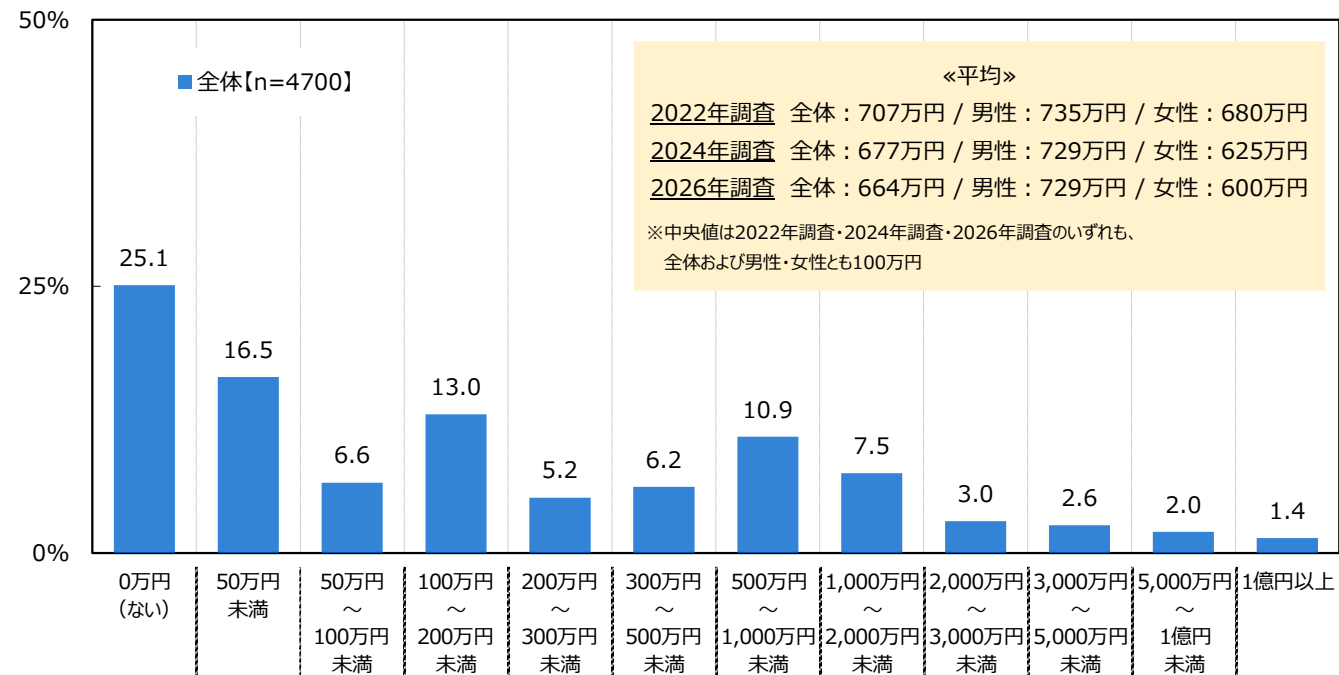
貯蓄や支出などマネー事情について質問しました。

まず、全回答者（4,700名）に、現在の貯蓄額を聞いたところ、「0万円（ない）」（25.1%）に最も多くの回答が集まったほか、「50万円未満」（16.5%）や「100万円～200万円未満」（13.0%）、「500万円～1,000万円未満」（10.9%）と続き、平均は664万円でした。

男女別にみると、現在の貯蓄額の平均は、男性では729万円、女性では600万円でした。

過去の調査結果と比較すると、現在の貯蓄額の平均は、2022年707万円→2024年677万円→2026年664万円と減少傾向が続き、2022年調査からは43万円の減少となりました。物価上昇や円安進行、不安定な経済情勢などの影響を受け、貯蓄する余裕がないケースもあるのではないのでしょうか。また、前回の調査結果から、男性の平均金額は同水準で推移したものの、女性では25万円の減少（2024年625万円→2026年600万円）となりました。

◆現在の貯蓄額（数値入力形式）

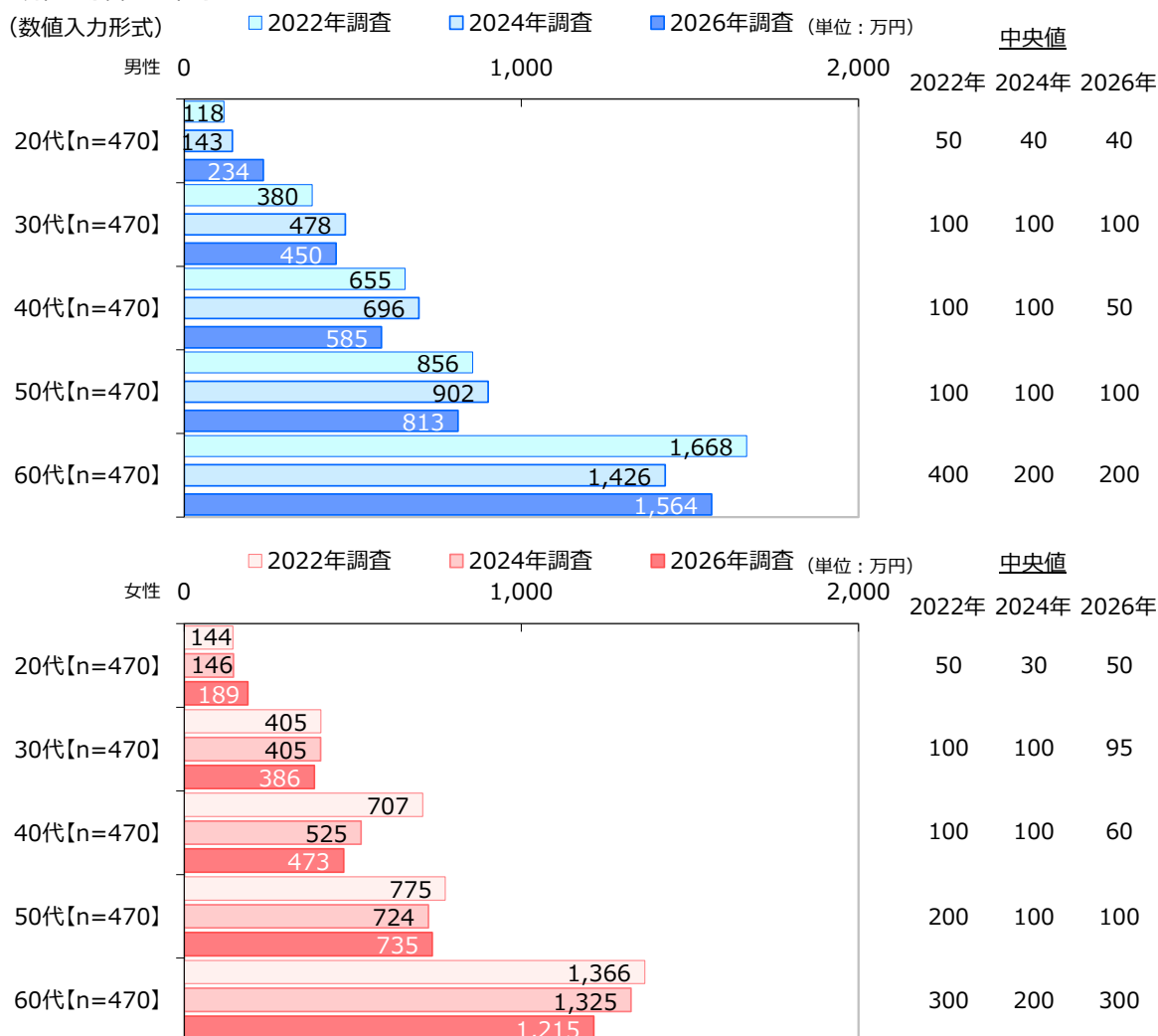


性年代別にみると、現在の貯蓄額の平均は、男性では20代で2022年118万円→2024年143万円→2026年234万円と増加傾向がみられました。また、60代では2022年調査から2024年調査の減少幅は242万円（2022年1,668万円→2024年1,426万円）と大きく減少したものの、2026年調査では2024年調査から138万円の増加（2024年1,426万円→2026年1,564万円）となりました。他方、2024年調査からの減少幅が最も大きくなったのは40代で、111万円の減少（2024年696万円→2026年585万円）となりました。女性では40代と60代で減少傾向がみられ、60代では2024年調査から110万円の減少（2024年1,325万円→2026年1,215万円）となりました。

また、中央値をみると、男女ともに40代で減少幅が大きくなっており、40代男性では50万円（2024年100万円→2026年50万円）、40代女性では40万円（2024年100万円→2026年60万円）減少しました。他方、60代女性では2024年200万円→2026年300万円と、大きく増加しました。

◆現在の貯蓄額の平均

(数値入力形式)



都道府県別にみると、現在の貯蓄額の平均は、1位は東京都（1,242万円）、2位は京都府（1,167万円）、3位は長崎県（1,124万円）、4位は山梨県（1,023万円）、5位は埼玉県（1,002万円）となり、男女別では男性1位が大阪府（1,444万円）、女性1位が京都府（1,593万円）でした。

◆現在の貯蓄額の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		万円			万円			万円			万円
1位	東京都	1,242	12位	徳島県	766	24位	熊本県	659	36位	愛媛県	503
2位	京都府	1,167	13位	千葉県	756	25位	静岡県	656	37位	岩手県	482
3位	長崎県	1,124	14位	山口県	751	26位	群馬県	637	38位	長野県	475
4位	山梨県	1,023	15位	石川県	737	27位	岐阜県	634	39位	宮崎県	473
5位	埼玉県	1,002	16位	滋賀県	732	28位	島根県	618	40位	福島県	462
6位	大阪府	967	17位	宮城県	695	29位	茨城県	614	41位	沖縄県	451
7位	奈良県	934	18位	富山県	689	30位	広島県	587	42位	佐賀県	436
8位	神奈川県	815	19位	福井県	687	31位	岡山県	575	43位	福岡県	420
9位	三重県	800	20位	和歌山県	669	32位	新潟県	555	44位	青森県	328
10位	愛知県	785	21位	鹿児島県	668	33位	北海道	546	45位	大分県	323
11位	香川県	781	22位	高知県	667	34位	栃木県	532	46位	秋田県	316
			23位	兵庫県	664	35位	山形県	511	47位	鳥取県	315

男性・各都道府県【n=50】

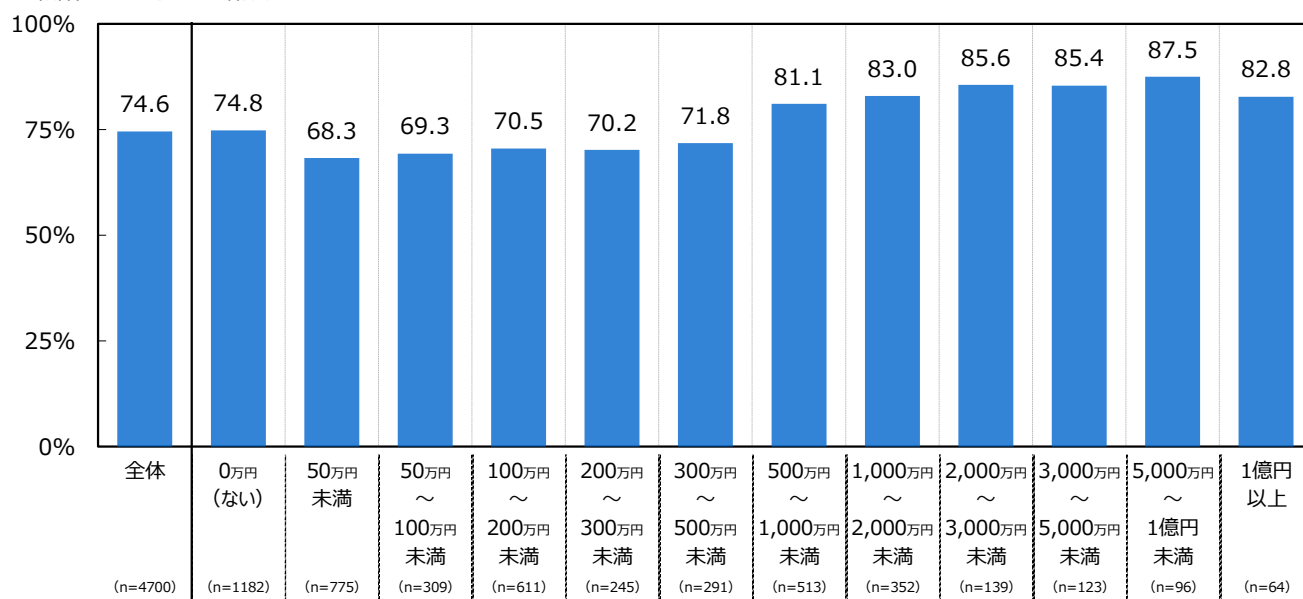
		万円			万円			万円			万円
1位	大阪府	1,444	12位	愛知県	935	24位	新潟県	717	36位	北海道	566
2位	奈良県	1,350	13位	和歌山県	877	25位	長崎県	711	37位	山形県	554
3位	神奈川県	1,116	14位	熊本県	863	26位	福島県	700	38位	静岡県	546
4位	埼玉県	1,095	15位	広島県	856	27位	岐阜県	663	39位	茨城県	516
5位	高知県	1,058	16位	兵庫県	830	29位	愛媛県	663	40位	福岡県	500
6位	東京都	1,012	17位	宮城県	800	30位	徳島県	661	41位	沖縄県	426
7位	滋賀県	1,007	18位	群馬県	773	31位	福井県	651	42位	大分県	403
8位	山梨県	953	19位	三重県	764	32位	岡山県	585	43位	宮崎県	392
9位	香川県	945	20位	鹿児島県	752	33位	佐賀県	580	44位	秋田県	382
10位	山口県	943	21位	京都府	740	34位	栃木県	578	45位	長野県	320
11位	富山県	941	22位	島根県	740	35位	岩手県	576	46位	青森県	308
			23位	石川県	721		千葉県	571	47位	鳥取県	201

女性・各都道府県【n=50】

		万円			万円			万円			万円
1位	京都府	1,593	12位	茨城県	713	24位	神奈川県	515	36位	鳥取県	429
2位	長崎県	1,537	13位	愛知県	636	25位	群馬県	500	37位	新潟県	393
3位	東京都	1,473	14位	長野県	629	26位	兵庫県	499	38位	岩手県	387
4位	山梨県	1,094	15位	香川県	616	27位	島根県	496	39位	青森県	348
5位	千葉県	942	16位	岐阜県	606	28位	大阪府	490	40位	愛媛県	342
6位	埼玉県	909	17位	宮城県	591	29位	栃木県	487	41位	福岡県	339
7位	徳島県	871	18位	鹿児島県	584	30位	沖縄県	477	42位	広島県	319
8位	三重県	836	19位	岡山県	565	31位	山形県	468	43位	佐賀県	293
9位	静岡県	766	20位	山口県	558	32位	和歌山県	461	44位	高知県	276
10位	石川県	753	21位	宮崎県	554	33位	滋賀県	458	45位	秋田県	251
11位	福井県	723	22位	北海道	527	34位	熊本県	455	46位	大分県	243
			23位	奈良県	518	35位	富山県	436	47位	福島県	225

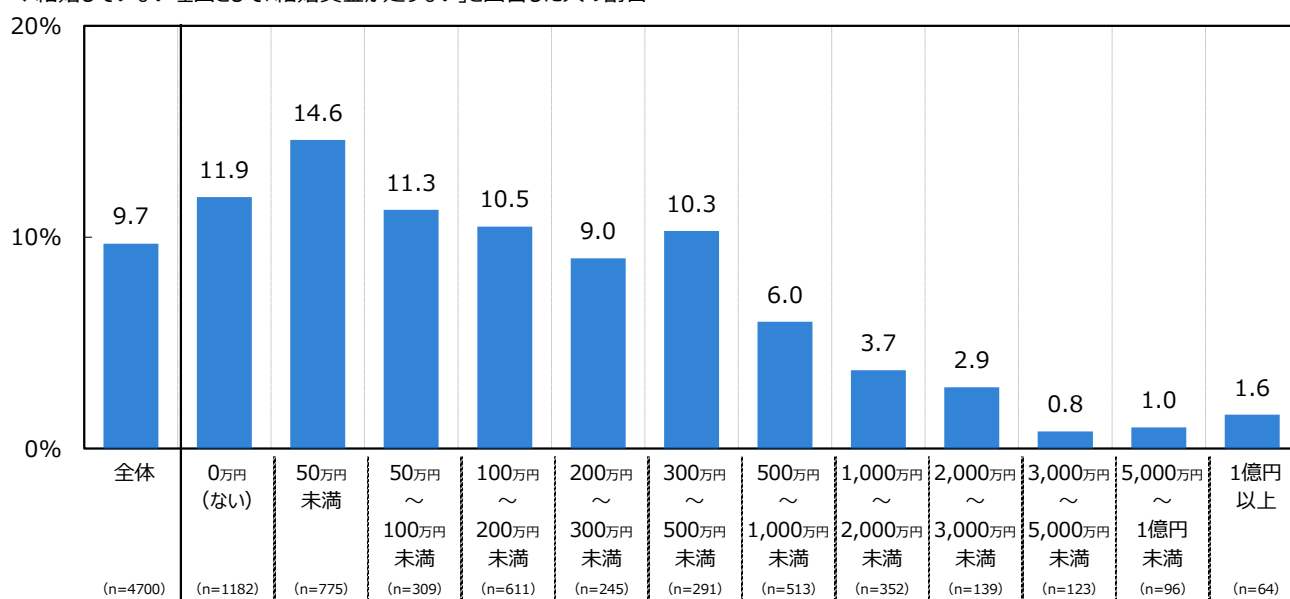
ここで、結婚しない・結婚していない点に関して、現在の貯蓄額別にみると、結婚しないと思う人の割合は、貯蓄額が 500 万円以上の層（500 万円～1,000 万円未満 81.1%、1,000 万円～2,000 万円未満 83.0%、2,000 万円～3,000 万円未満 85.6%、3,000 万円～5,000 万円未満 85.4%、5,000 万円～1 億円未満 87.5%、1 億円以上 82.8%）では 80%を上回っており、蓄えに余裕がある人ほど今後結婚はしないのではと感じている人が多いことをうかがえる結果となりました。

◆結婚しないと思う人の割合



また、結婚していない理由として「結婚資金が足りない」と回答した人の割合を現在の貯蓄額別にみると、貯蓄額が 500 万円未満の層（0 万円 11.9%、50 万円未満 14.6%、50 万円～100 万円未満 11.3%、100 万円～200 万円未満 10.5%、200 万円～300 万円未満 9.0%、300 万円～500 万円未満 10.3%）では多くの層で 10%を上回りました。結婚したくても経済的な理由であきらめているケースがあるのではないのでしょうか。

◆結婚していない理由として「結婚資金が足りない」と回答した人の割合

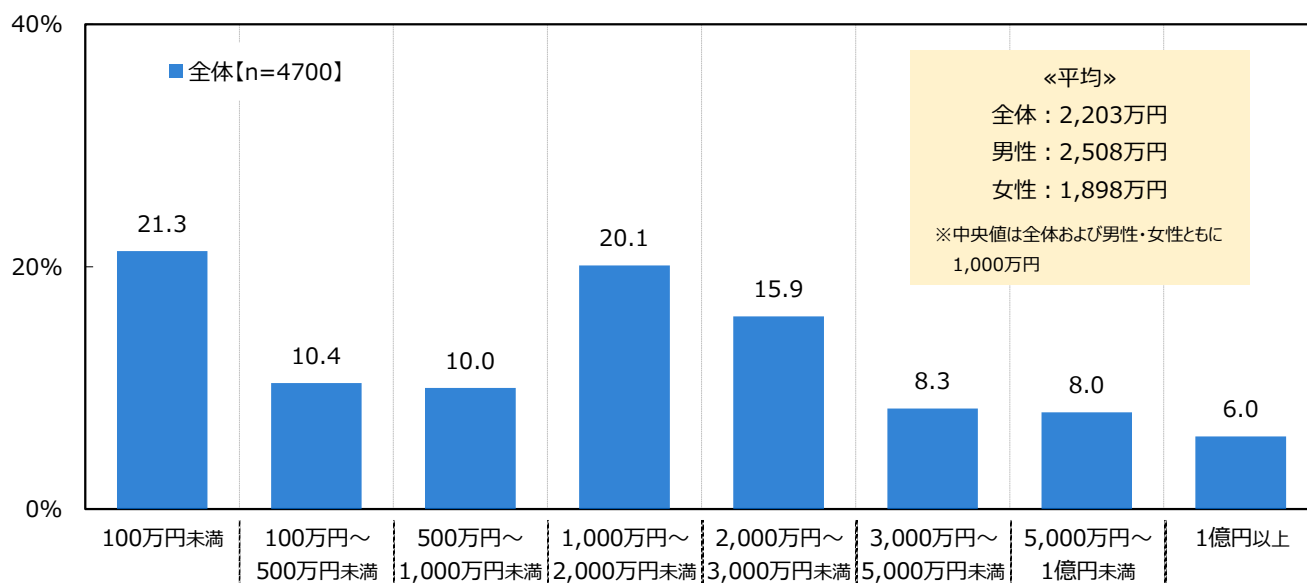


・老後に備えてリタイアまでに準備したいお金 平均金額は全体 2,203 万円、男性 2,508 万円、女性 1,898 万円
 都道府県別では 1 位「長崎県」3,558 万円、
 他方、“老後に備えてリタイアまでに準備したいお金”と“現在の貯蓄額”の差でも長崎県が 2,434 万円で 1 位に

また、老後に備えてリタイアまでに準備したいお金を聞いたところ、「100 万円未満」（21.3%）や「1,000 万円～2,000 万円未満」（20.1%）、「2,000 万円～3,000 万円未満」（15.9%）に回答が分かれ、平均は 2,203 万円でした。

男女別にみると、老後に備えてリタイアまでに準備したいお金の平均は、男性 2,508 万円、女性 1,898 万円となりました。

◆老後に備えてリタイアまでに準備したいお金 （数値入力形式）



都道府県別にみると、老後に備えてリタイアまでに準備したいお金の平均は、1 位は長崎県（3,558 万円）、2 位は愛知県（3,166 万円）、3 位は東京都（3,159 万円）、4 位は京都府（2,888 万円）、5 位は三重県（2,871 万円）となりました。

◆老後に備えてリタイアまでに準備したいお金の平均 （数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		万円			万円			万円			万円
1位	長崎県	3,558	12位	奈良県	2,692	24位	新潟県	2,131	36位	鳥取県	1,721
2位	愛知県	3,166	13位	滋賀県	2,645	25位	福井県	2,130	37位	長野県	1,704
3位	東京都	3,159	14位	和歌山県	2,554	26位	岐阜県	2,105	38位	島根県	1,691
4位	京都府	2,888	15位	栃木県	2,549	27位	富山県	2,071	39位	福島県	1,628
5位	三重県	2,871	16位	大阪府	2,513	28位	徳島県	2,047	40位	佐賀県	1,615
6位	千葉県	2,852	17位	神奈川県	2,412	29位	愛媛県	2,020	41位	茨城県	1,549
7位	埼玉県	2,787	18位	兵庫県	2,295	30位	宮崎県	2,002	42位	群馬県	1,511
8位	山形県	2,775	19位	岩手県	2,264	31位	静岡県	1,985	43位	青森県	1,492
9位	岡山県	2,745	20位	石川県	2,250	32位	広島県	1,888	44位	北海道	1,473
10位	山梨県	2,727	21位	福岡県	2,243	33位	鹿児島県	1,850	45位	秋田県	1,465
11位	香川県	2,722	22位	熊本県	2,194	34位	高知県	1,831	46位	沖縄県	1,445
			23位	宮城県	2,131	35位	山口県	1,809	47位	大分県	1,372

ここで、“老後に備えてリタイアまでに準備したいお金”と“現在の貯蓄額”の差をみると、平均は長崎県（2,434 万円）が最も大きくなり、愛知県（2,381 万円）、山形県（2,264 万円）、岡山県（2,170 万円）、千葉県（2,096 万円）が続きました。

◆「老後に備えてリタイアまでに準備したいお金－現在の貯蓄額」の平均

各都道府県【n=100】

		万円			万円			万円			万円
1位	長崎県	2,434	12位	福岡県	1,823	24位	愛媛県	1,517	36位	佐賀県	1,179
2位	愛知県	2,381	13位	埼玉県	1,785	25位	石川県	1,514	37位	福島県	1,166
3位	山形県	2,264	14位	岩手県	1,783	26位	岐阜県	1,470	38位	青森県	1,164
4位	岡山県	2,170	15位	奈良県	1,758	27位	福井県	1,442		高知県	1,164
5位	千葉県	2,096	16位	京都府	1,721	28位	宮城県	1,435	40位	秋田県	1,148
6位	三重県	2,071	17位	山梨県	1,704	29位	鳥取県	1,405	41位	島根県	1,073
7位	栃木県	2,017	18位	兵庫県	1,630	30位	富山県	1,382	42位	山口県	1,058
8位	香川県	1,941	19位	神奈川県	1,597	31位	静岡県	1,329	43位	大分県	1,049
9位	東京都	1,917	20位	新潟県	1,576	32位	広島県	1,301	44位	沖縄県	994
10位	滋賀県	1,913	21位	大阪府	1,546	33位	徳島県	1,281	45位	茨城県	935
11位	和歌山県	1,884	22位	熊本県	1,535	34位	長野県	1,229	46位	北海道	926
			23位	宮崎県	1,529	35位	鹿児島県	1,182	47位	群馬県	874

*各回答者について「老後に備えてリタイアまでに準備したいお金－現在の貯蓄額」を計算し、それを都道府県単位で集計した

・おひとりさまの支出実態

“友人との交流”“ストレス発散”には「お金を使う」が多数派、
“旅行・レジャー”“健康増進”には「お金を使わない」が多数派

・1カ月の平均支出額

「友人との交流」7,359 円、「旅行・レジャー」10,788 円、「健康増進」3,380 円、「ストレス発散」8,334 円

・1カ月に友人との交流に使っているお金（平均）

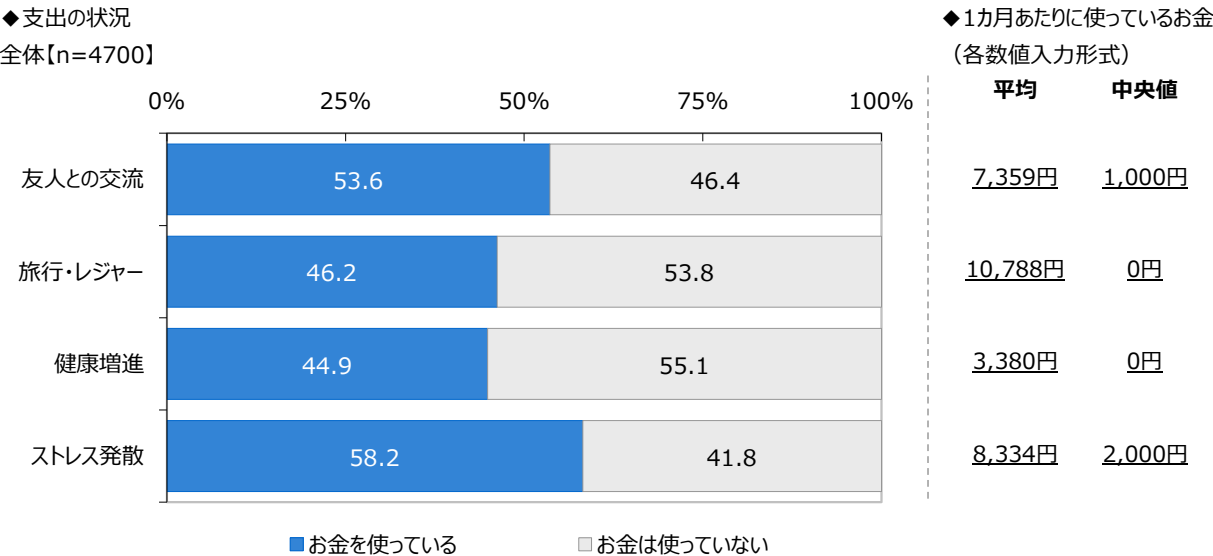
1 位「北海道」13,260 円、2 位「神奈川県」11,800 円、3 位「大阪府」10,265 円

・1カ月に旅行・レジャーに使っているお金（平均）、1カ月に健康増進のために使っているお金（平均）、
1カ月にストレス発散に使っているお金（平均）の3項目で「神奈川県」がトップに

続いて、支出について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、支出の状況を聞いたところ、「お金を使っている」の割合は、友人との交流では 53.6%、旅行・レジャーでは 46.2%、健康増進では 44.9%、ストレス発散では 58.2%となり、「お金は使っていない」の割合は、友人との交流では 46.4%、旅行・レジャーでは 53.8%、健康増進では 55.1%、ストレス発散では 41.8%となりました。

また、1 カ月あたりに使っているお金を聞いたところ、友人との交流では平均 7,359 円、旅行・レジャーでは平均 10,788 円、健康増進では平均 3,380 円、ストレス発散では平均 8,334 円でした。



都道府県別に平均をみると、“友人との交流に使っているお金”では 1 位は北海道（13,260 円）、2 位は神奈川県（11,800 円）、3 位は大阪府（10,265 円）、4 位は大分県（9,846 円）、5 位は岩手県（9,580 円）、“旅行・レジャーに使っているお金”では 1 位は神奈川県（16,940 円）、2 位は埼玉県（15,385 円）、3 位は沖縄県（14,905 円）、4 位は岐阜県（14,030 円）、5 位は栃木県（13,650 円）となりました。

◆友人との交流に使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		円			円			円			円
1位	北海道	13,260	12位	兵庫県	8,246	24位	茨城県	7,215	36位	和歌山県	6,314
2位	神奈川県	11,800	13位	愛知県	8,075	25位	新潟県	6,950	37位	秋田県	6,284
3位	大阪府	10,265	14位	徳島県	7,993	26位	埼玉県	6,940	38位	滋賀県	6,275
4位	大分県	9,846	15位	宮崎県	7,900	27位	富山県	6,868	39位	愛媛県	6,260
5位	岩手県	9,580	16位	長野県	7,720	28位	山形県	6,721	40位	栃木県	6,195
6位	東京都	9,495	17位	山梨県	7,600	29位	佐賀県	6,620	41位	福島県	6,110
7位	鹿児島県	9,262	18位	奈良県	7,469	30位	広島県	6,460	42位	福井県	5,585
8位	千葉県	8,505	19位	三重県	7,383	31位	静岡県	6,456	43位	京都府	5,365
9位	沖縄県	8,350	20位	長崎県	7,375	32位	高知県	6,450	44位	香川県	5,330
10位	石川県	8,265	21位	福岡県	7,318	33位	鳥取県	6,395	45位	宮城県	5,060
11位	岐阜県	8,260	22位	群馬県	7,275	34位	青森県	6,391	46位	山口県	4,693
			23位	熊本県	7,250	35位	島根県	6,365	47位	岡山県	4,100

◆旅行・レジャーに使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		円			円			円			円
1位	神奈川県	16,940	11位	島根県	12,300	24位	熊本県	10,687	36位	和歌山県	9,240
2位	埼玉県	15,385	13位	宮崎県	11,830	25位	愛媛県	10,580	37位	秋田県	9,233
3位	沖縄県	14,905	14位	長崎県	11,665	26位	新潟県	10,492	38位	大阪府	9,080
4位	岐阜県	14,030	15位	富山県	11,490	27位	高知県	10,475	39位	青森県	8,851
5位	栃木県	13,650	16位	京都府	11,460	28位	鹿児島県	10,395	40位	茨城県	8,545
6位	北海道	13,295	17位	宮城県	11,265	29位	大分県	10,090	41位	福井県	8,360
7位	千葉県	13,200	18位	滋賀県	11,240	30位	奈良県	9,883	42位	群馬県	8,172
8位	東京都	12,675	19位	山梨県	11,060	31位	香川県	9,760	43位	岡山県	7,935
9位	山形県	12,616	20位	三重県	10,965	32位	愛知県	9,670	44位	広島県	7,775
10位	石川県	12,480	21位	徳島県	10,890	33位	長野県	9,505	45位	山口県	7,670
11位	鳥取県	12,300	22位	福島県	10,840	34位	岩手県	9,488	46位	佐賀県	7,405
			23位	兵庫県	10,720	35位	福岡県	9,340	47位	静岡県	7,201

また、“健康増進のために使っているお金”では1位は神奈川県（6,066円）、2位は鹿児島県（5,708円）、3位は東京都（5,655円）、4位は大阪府（4,992円）、5位は佐賀県（4,798円）、“ストレス発散に使っているお金”では1位は神奈川県（13,111円）、2位は茨城県（11,575円）、3位は佐賀県（11,430円）、4位は岐阜県（11,285円）、5位は徳島県（10,820円）となり、平均の金額は、神奈川県が“友人との交流”では2位、“旅行・レジャー”、“健康増進”、“ストレス発散”では1位となりました。

◆健康増進のために使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		円			円			円			円
1位	神奈川県	6,066	12位	長野県	3,820	24位	山形県	3,137	36位	広島県	2,755
2位	鹿児島県	5,708	13位	熊本県	3,728	25位	愛知県	3,105	37位	宮城県	2,730
3位	東京都	5,655	14位	沖縄県	3,708	26位	福島県	3,065	38位	鳥取県	2,670
4位	大阪府	4,992	15位	群馬県	3,666	27位	宮崎県	3,034	39位	愛媛県	2,534
5位	佐賀県	4,798	16位	大分県	3,580	28位	岩手県	3,020	40位	北海道	2,525
6位	長崎県	4,385	17位	和歌山県	3,566	29位	栃木県	2,999	41位	秋田県	2,520
7位	福岡県	4,375	18位	千葉県	3,543	30位	三重県	2,960	42位	京都府	2,456
8位	岐阜県	4,240	19位	新潟県	3,518	31位	滋賀県	2,940	43位	山口県	2,311
9位	奈良県	4,090	20位	香川県	3,435	32位	岡山県	2,860	44位	福井県	2,303
10位	埼玉県	4,003	21位	青森県	3,316	33位	山梨県	2,835	45位	島根県	2,209
11位	兵庫県	3,926	22位	静岡県	3,294	34位	茨城県	2,814	46位	高知県	1,921
			23位	徳島県	3,203	35位	富山県	2,765	47位	石川県	1,781

◆ストレス発散に使っているお金（1カ月あたり）の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

		円			円			円			円
1位	神奈川県	13,111	12位	宮城県	9,485	24位	青森県	8,326	36位	和歌山県	6,762
2位	茨城県	11,575	13位	静岡県	9,409	25位	島根県	8,178	37位	高知県	6,659
3位	佐賀県	11,430	14位	奈良県	9,400	26位	群馬県	8,026	38位	埼玉県	6,492
4位	岐阜県	11,285	15位	石川県	9,370	27位	大分県	7,921	39位	長野県	6,491
5位	徳島県	10,820	16位	鹿児島県	9,340	28位	広島県	7,720	40位	千葉県	6,450
6位	岡山県	10,686	17位	山口県	9,301	29位	愛媛県	7,582	41位	東京都	6,410
7位	香川県	10,366	18位	富山県	9,105	30位	新潟県	7,530	42位	福井県	6,410
8位	福岡県	10,260	19位	山形県	8,780	31位	熊本県	7,370	43位	宮崎県	6,235
9位	北海道	10,240	20位	兵庫県	8,633	32位	岩手県	7,249	44位	京都府	5,643
10位	大阪府	9,985	21位	長崎県	8,622	33位	滋賀県	7,071	45位	鳥取県	5,460
11位	愛知県	9,729	22位	秋田県	8,575	34位	沖縄県	6,980	46位	福島県	5,365
			23位	山梨県	8,480	35位	三重県	6,832	47位	栃木県	4,572

◆“ひとり○○”について

・一人で行う“ひとり○○”に抵抗を感じる？

“ひとり海外旅行”“ひとりバイキング・ビュッフェ”“ひとりコース料理”“ひとり遊園地”は「抵抗がある」が多数派

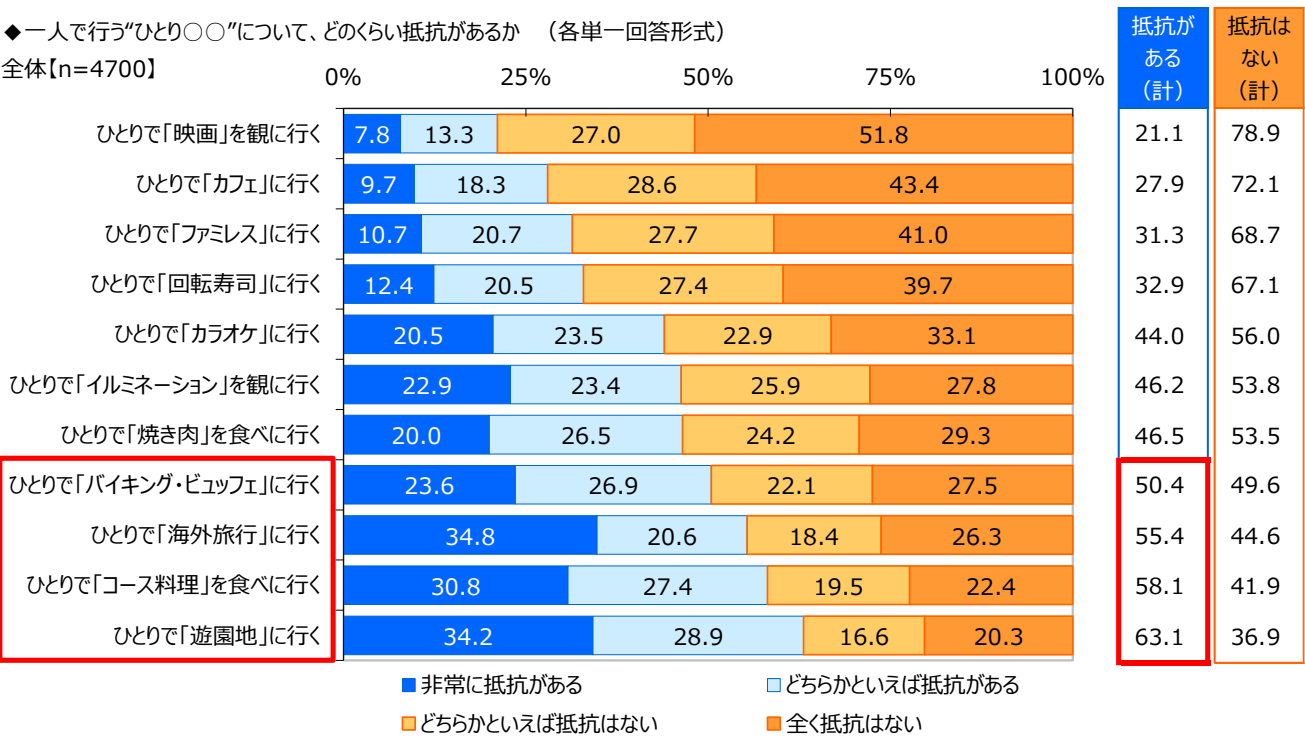
おひとりさまが一人で行う“ひとり○○”について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、一人で行う“ひとり○○”を複数提示し、それぞれどのくらい抵抗があるか聞いたところ、『抵抗がある（計）』（「非常に抵抗がある」と「どちらかといえば抵抗がある」の合計）と回答した人の割合が半数以上になったのは【ひとりで『バイキング・ビュッフェ』に行く】（50.4%）、【ひとりで『海外旅行』に行く】（55.4%）、【ひとりで『コース料理』を食べに行く】（58.1%）、【ひとりで『遊園地』に行く】（63.1%）、半数未満になったのは【ひとりで『焼き肉』を食べに行く】（46.5%）、【ひとりで『イルミネーション』を観に行く】（46.2%）、【ひとりで『カラオケ』に行く】（44.0%）、【ひとりで『回転寿司』に行く】（32.9%）、【ひとりで『ファミレス』に行く】（31.3%）、【ひとりで『カフェ』に行く】（27.9%）、【ひとりで『映画』を観に行く】（21.1%）でした。

飲食関連では、バイキング・ビュッフェ、コース料理に一人で行くのはハードルが高いと感じる人が多いようです。また、レジャー関連では、海外旅行、遊園地はともに、一人で行くことについて抵抗がある人が半数以上となりました。

◆一人で行う“ひとり○○”について、どのくらい抵抗があるか（各単一回答形式）

全体【n=4700】



男女別にみると、「抵抗がある」と回答した人の割合は、男性・女性ともに『コース料理』と『遊園地』で半数以上となり、女性では『焼き肉』『海外旅行』『バイキング・ビュッフェ』でも半数以上となりました。

年代別にみると、「抵抗がある」と回答した人の割合は、いずれの年代でも『海外旅行』『コース料理』『遊園地』では半数以上となり、30代から50代では『バイキング・ビュッフェ』、50代以上では『カラオケ』も半数以上となりました。また、30代では『イルミネーション』も半数以上が「抵抗がある」と回答しました。

◆一人で言う“ひとり〇〇”について、半数以上が「抵抗がある」と回答したもの

*項目：カフェ／映画／ファミレス／回転寿司／カラオケ／イルミネーション／焼き肉／海外旅行／バイキング・ビュッフェ／コース料理／遊園地

男性【n=2350】	%	女性【n=2350】	%
コース料理	52.0	焼き肉	53.7
遊園地	60.8	バイキング・ビュッフェ	57.0
		海外旅行	61.4
		コース料理	64.3
		遊園地	65.4

20代【n=940】	%	30代【n=940】	%	40代【n=940】	%	50代【n=940】	%	60代【n=940】	%
コース料理	52.6	イルミネーション	50.3	バイキング・ビュッフェ	54.0	カラオケ	51.7	カラオケ	53.0
遊園地	54.3	バイキング・ビュッフェ	53.2	海外旅行	57.1	バイキング・ビュッフェ	53.2	海外旅行	54.3
海外旅行	54.6	海外旅行	57.4	コース料理	61.0	海外旅行	53.5	コース料理	58.0
		コース料理	58.5	遊園地	67.9	コース料理	60.6	遊園地	62.7
		遊園地	65.1			遊園地	65.6		

【参考（一覧）】

◆一人で言う“ひとり〇〇”への抵抗感（○：「抵抗あり」が半数以上）

	男女		年代				
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
カフェ							
映画							
ファミレス							
回転寿司							
カラオケ						○	○
イルミネーション				○			
焼き肉		○					
海外旅行		○	○	○	○	○	○
バイキング・ビュッフェ		○		○	○	○	
コース料理	○	○	○	○	○	○	○
遊園地	○	○	○	○	○	○	○

◆“子ども・子育て支援金”について

・“子ども・子育て支援金”（通称：独身税）に対する意識

「公平な仕組みだと思う」17%、「不公平な仕組みだと思う」39%

不公平感は男性・女性ともに 40 代で高く、40 代女性では「不公平な仕組みだと思う」が 49%に

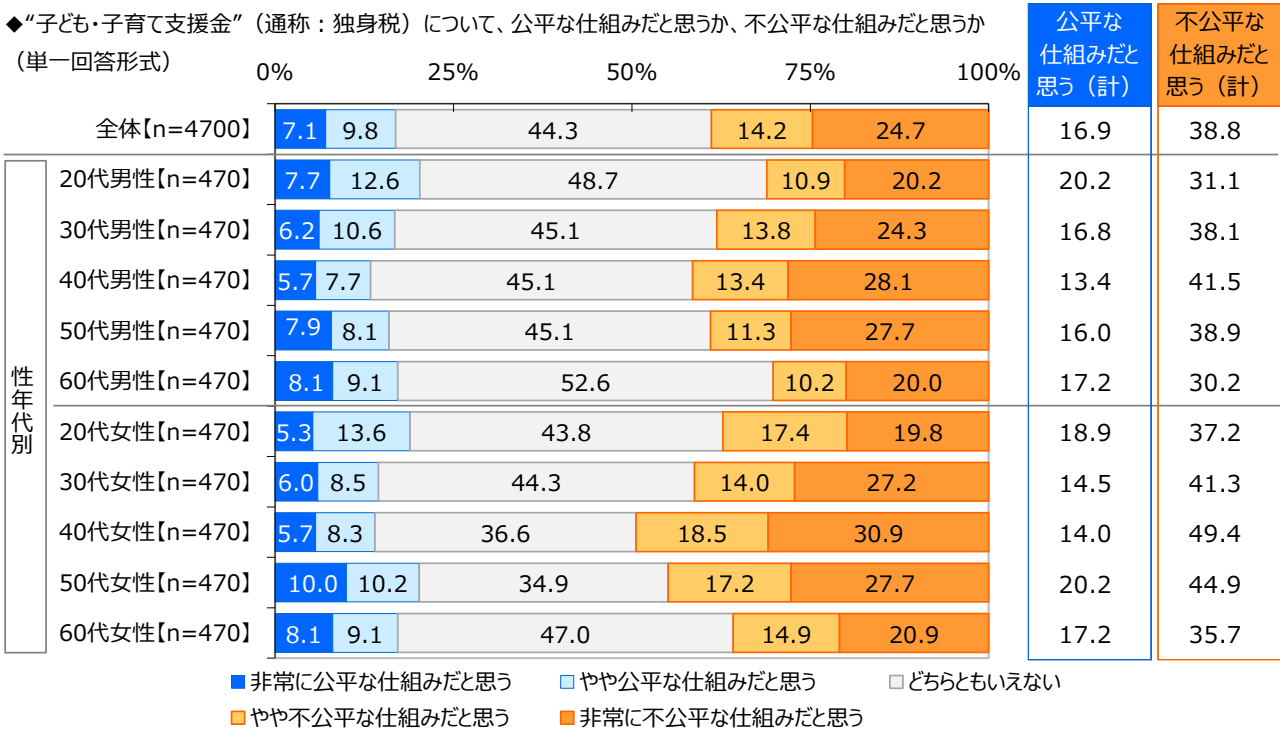
子育てを支援する制度である“子ども・子育て支援金”（通称：独身税）について質問しました。

子ども・子育て支援金とは、今年の 4 月から始まった少子化対策のための制度で、「児童手当の拡充」「妊婦のための支援給付」「こども誰でも通園制度」「出生後休業支援給付」「育児時短就業給付」「国民年金第 1 号被保険者の育児期間に係る保険料免除措置」の 6 つの事業の実施・拡充に使われます。

この制度については、独身者も含めた公的医療保険の加入者全員が負担する仕組みになっていることから“独身税”といわれることもあります。

全回答者（4,700 名）に、“子ども・子育て支援金”（通称：独身税）について、公平な仕組みだと思うか、不公平な仕組みだと思うか聞いたところ、「非常に公平な仕組みだと思う」が 7.1%、「やや公平な仕組みだと思う」が 9.8%で合計した『公平な仕組みだと思う（計）』は 16.9%、「非常に不公平な仕組みだと思う」が 24.7%、「やや不公平な仕組みだと思う」が 14.2%で合計した『不公平な仕組みだと思う（計）』は 38.8%、「どちらともいえない」は 44.3%となりました。実際に支援を受けるのが子育てに関する分野である点や“独身税”との通称がよく知られていることから、公平さよりは不公平さを感じている人が多いようです。

性年代別にみると、『不公平な仕組みだと思う（計）』と回答した人の割合は男性・女性ともに 40 代が最も高くなっており、40 代女性では 49.4%と特に高くなりました。



◆“おひとりさまあるある”について

・“おひとりさまあるある”

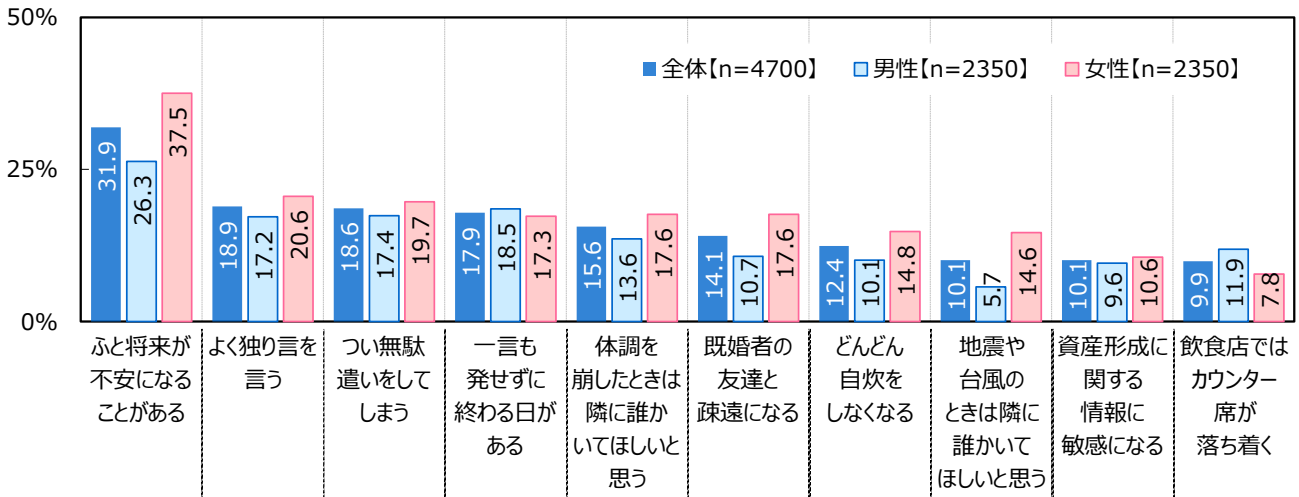
1 位「ふと将来が不安になることがある」2 位「よく独り言を言う」3 位「つい無駄遣いをしてしまう」

“おひとりさまあるある”について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、ひとりでの行動・くらしに関して、自身にあてはまることのある特徴・経験・振る舞いを聞いたところ、「ふと将来が不安になることがある」（31.9％）が最も高くなり、「よく独り言を言う」（18.9％）、「つい無駄遣いをしてしまう」（18.6％）、「一言も発せずに終わる日がある」（17.9％）、「体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う」（15.6％）が続きました。

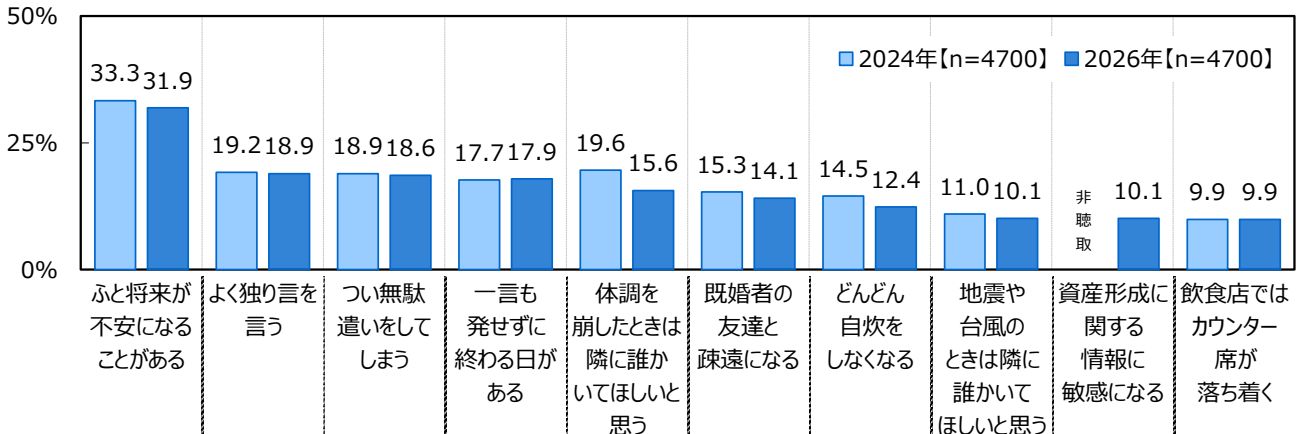
男女別に見ると、女性では「ふと将来が不安になることがある」が 37.5％と、男性（26.3％）と比べて 10 ポイント以上高くなりました。

◆ひとりでの行動・くらしに関して、自身にあてはまることのある特徴・経験・振る舞い（複数回答形式） ※上位10位までを表示



前回の調査結果と比較すると、「ふと将来が不安になることがある」（2024 年 33.3％、2026 年 31.9％）は前回調査に続き今回調査でも 1 位でした。くらしのなかのふとした瞬間に自身の将来を不安視することは、おひとりさまの“あるある”行動としてよくみられるようです。

◆ひとりでの行動・くらしに関して、自身にあてはまることのある特徴・経験・振る舞い（複数回答形式） ※2026年の上位10位までを表示



性年代別にみると、男性では 20 代で「よく独り言を言う」が 1 位、「資産形成に関する情報に敏感になる」が 5 位に挙がり、女性ではいずれの年代も「ふと将来が不安になることがある」が特に高くなりました。

◆ひとりでの行動・くらしに関して、自身にあてはまることのある特徴・経験・振る舞い（複数回答形式） ※上位5位までを表示

	20代男性【n=470】	%		30代男性【n=470】	%
1位	よく独り言を言う	16.0	1位	ふと将来が不安になることがある	22.8
2位	ふと将来が不安になることがある	15.7	2位	つい無駄遣いをしてしまう	16.6
3位	つい無駄遣いをしてしまう	14.0	3位	一言も発せずに終わる日がある	16.0
4位	一言も発せずに終わる日がある	10.4	4位	よく独り言を言う	14.3
5位	資産形成に関する情報に敏感になる	8.1	5位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	9.8

	40代男性【n=470】	%		50代男性【n=470】	%		60代男性【n=470】	%
1位	ふと将来が不安になることがある	29.6	1位	ふと将来が不安になることがある	29.6	1位	ふと将来が不安になることがある	33.8
2位	よく独り言を言う	18.9	2位	一言も発せずに終わる日がある	21.3	2位	一言も発せずに終わる日がある	27.2
3位	つい無駄遣いをしてしまう	18.3	3位	つい無駄遣いをしてしまう	20.4	3位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	20.0
4位	一言も発せずに終わる日がある	17.7	4位	よく独り言を言う	19.8	4位	つい無駄遣いをしてしまう	17.7
5位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	14.3	5位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	16.0	5位	よく独り言を言う	17.2
				既婚者の友達と疎遠になる	16.0		飲食店ではカウンター席が落ち着く	17.2

	20代女性【n=470】	%		30代女性【n=470】	%
1位	ふと将来が不安になることがある	25.5	1位	ふと将来が不安になることがある	35.1
2位	つい無駄遣いをしてしまう	19.8	2位	つい無駄遣いをしてしまう	19.8
3位	よく独り言を言う	16.2	3位	よく独り言を言う	19.1
4位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	14.0	4位	既婚者の友達と疎遠になる	18.7
5位	ひとり行動している人に仲間意識を持つ	11.1	5位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	15.7

	40代女性【n=470】	%		50代女性【n=470】	%		60代女性【n=470】	%
1位	ふと将来が不安になることがある	40.6	1位	ふと将来が不安になることがある	45.5	1位	ふと将来が不安になることがある	40.9
2位	既婚者の友達と疎遠になる	22.3	2位	既婚者の友達と疎遠になる	24.3	2位	一言も発せずに終わる日がある	28.1
3位	よく独り言を言う	21.7	3位	よく独り言を言う	20.6	3位	よく独り言を言う	25.1
4位	つい無駄遣いをしてしまう	20.2	4位	一言も発せずに終わる日がある	20.4	4位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	20.9
5位	体調を崩したときは隣に誰かいてほしいと思う	19.4	5位	つい無駄遣いをしてしまう	20.0	5位	つい無駄遣いをしてしまう	18.7

◆“おひとりさま”ゆえに経験したショックな出来事について

・“おひとりさま”ゆえにこれまでに経験したことがあるショックな出来事

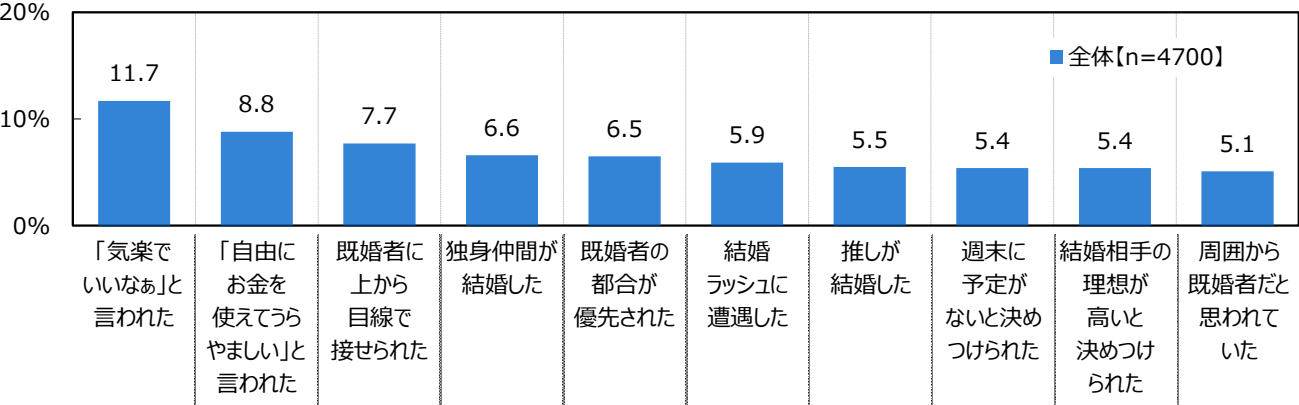
1 位『「気楽でいいなあ」と言われた」2 位『「自由にお金を使えてうらやましい』と言われた』

女性では「既婚者に上から目線で接せられた」が男性より高い傾向

おひとりさまであるがゆえに経験した出来事について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、これまでに経験したことがあるショックな出来事を聞いたところ、「『気楽でいいなあ』と言われた」（11.7％）が最も高くなりました。おひとりさまであるために“お気楽者”認定されたケースが少なくないようです。次いで高くなったのは、「『自由にお金を使えてうらやましい』と言われた」（8.8％）、「既婚者に上から目線で接せられた」（7.7％）、「独身仲間が結婚した」（6.6％）、「既婚者の都合が優先された」（6.5％）でした。

◆これまでに経験したことがあるショックな出来事（複数回答形式） ※上位10位までを表示



男女別にみると、女性では「既婚者に上から目線で接せられた」が 10.4％と、男性（5.0％）と比べて 5 ポイント以上高くなりました。

性年代別にみると、20 代女性では「結婚ラッシュに遭遇した」（11.5％）、50 代女性では「既婚者に上から目線で接せられた」（14.0％）と「周囲から既婚者だと思われていた」（11.7％）、60 代女性では「『気楽でいいなあ』と言われた」（18.5％）と「『自由にお金を使えてうらやましい』と言われた」（14.0％）が全体と比べて 5 ポイント以上高くなりました。

◆これまでに経験したことがあるショックな出来事（複数回答形式） ※上位10位までを表示

		n 数	「気楽でいいなあ」と言われた	「自由にお金を使えてうらやましい」と言われた	既婚者に上から目線で接せられた	独身仲間が結婚した	既婚者の都合が優先された	結婚ラッシュに遭遇した	推しが結婚した	週末に予定がないと決めつけられた	結婚相手の理想が高いと決めつけられた	周囲から既婚者だと思われていた
男女	全体	4700	11.7	8.8	7.7	6.6	6.5	5.9	5.5	5.4	5.4	5.1
	男性	2350	10.5	8.2	5.0	5.9	4.3	4.0	4.2	5.1	3.7	3.5
	女性	2350	13.0	9.4	10.4	7.2	8.7	7.7	6.8	5.7	7.1	6.7
性年代	20代男性	470	6.4	5.5	3.8	5.7	3.8	4.5	4.5	4.5	3.4	2.8
	30代男性	470	8.5	7.9	5.7	6.2	3.8	5.1	5.3	5.1	3.0	2.6
	40代男性	470	10.0	7.2	6.2	8.1	4.3	4.9	4.7	7.2	3.8	2.3
	50代男性	470	14.0	8.7	4.5	6.0	4.5	3.2	3.4	3.6	4.5	4.3
	60代男性	470	13.6	11.5	4.7	3.6	5.1	2.1	3.2	4.9	3.6	5.7
	20代女性	470	4.7	4.7	4.3	7.2	6.0	11.5	8.7	5.1	4.0	3.0
	30代女性	470	11.3	9.4	10.2	9.6	10.2	9.1	10.0	5.5	6.6	3.6
	40代女性	470	14.0	7.4	12.3	10.9	10.6	6.0	6.6	5.3	8.7	5.7
	50代女性	470	16.4	11.3	14.0	5.5	9.6	7.4	4.7	7.0	8.9	11.7
	60代女性	470	18.5	14.0	11.3	3.0	7.0	4.7	3.8	5.5	7.4	9.6

■ 全体比+10pt以上/ ■ 全体比+5pt以上/ ■ 全体比-5pt以下/ ■ 全体比-10pt以下 (%)

◆“おひとりさま”と芸能人

・おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人

2022 年調査・2024 年調査に続き TOP3 は「今田耕司さん」「明石家さんまさん」「天海祐希さん」、
「今田耕司さん」が 2026 年調査では 1 位に

最後に、“おひとりさま”をテーマにイメージに合うと思う芸能人について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人を聞いたところ、1 位「今田耕司さん」（199 名）、2 位「明石家さんまさん」（164 名）、3 位「天海祐希さん」（143 名）、4 位「大久保佳代子さん」（95 名）、5 位「いとうあさこさん」（80 名）となりました。

理由をみると、1 位の今田耕司さんでは「楽しそうで生き生きしているから」（60 代女性）や「独身生活を謳歌しているイメージ」（50 代男性）、2 位の明石家さんまさんでは「常に楽しそうな雰囲気だから」（40 代男性）や「人生を謳歌していて楽しそう」（20 代女性）、3 位の天海祐希さんでは「独身なことを気にしていない感じがカッコいい」（20 代女性）や「自分をしっかり持っていて一人の生活を楽しんでいるから」（50 代女性）といった回答がありました。

男女別にみると、男性回答の 1 位は「今田耕司さん」（143 名）、女性回答の 1 位は「天海祐希さん」（132 名）でした。

年代別にみると、20 代、30 代、50 代の 1 位は「今田耕司さん」、40 代の 1 位は「今田耕司さん」と「天海祐希さん」、60 代の 1 位は「明石家さんまさん」でした。

◆おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人 （自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
1位	今田耕司	199名	1位	今田耕司	143名	1位	天海祐希	132名
2位	明石家さんま	164名	2位	明石家さんま	99名	2位	大久保佳代子	86名
3位	天海祐希	143名	3位	徳井義実	21名	3位	いとうあさこ	76名
4位	大久保佳代子	95名	4位	GACKT	12名	4位	明石家さんま	65名
5位	いとうあさこ	80名	5位	石田ゆり子	11名	5位	今田耕司	56名
6位	石田ゆり子	60名		天海祐希	11名	6位	石田ゆり子	49名
7位	久本雅美	38名	7位	江頭2:50	10名	7位	久本雅美	30名
8位	黒柳徹子	30名		中居正広	10名	8位	黒柳徹子	23名
9位	徳井義実	29名	9位	マツコ・デラックス	9名	9位	島崎和歌子	20名
10位	GACKT	27名		大久保佳代子	9名	10位	綾瀬はるか	19名

20代【n=940】			30代【n=940】		
1位	今田耕司	27名	1位	今田耕司	40名
2位	大久保佳代子	22名	2位	明石家さんま	21名
3位	いとうあさこ	21名	3位	天海祐希	20名
4位	明石家さんま	16名	4位	大久保佳代子	18名
5位	天海祐希	14名	5位	いとうあさこ	13名

40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】		
1位	今田耕司	32名	1位	今田耕司	60名	1位	明石家さんま	60名
	天海祐希	32名	2位	天海祐希	37名	2位	今田耕司	40名
3位	明石家さんま	31名	3位	明石家さんま	36名		天海祐希	40名
4位	大久保佳代子	29名	4位	石田ゆり子	25名	4位	黒柳徹子	14名
5位	いとうあさこ	20名	5位	いとうあさこ	17名	5位	石田ゆり子	11名
				大久保佳代子	17名			

過去の調査結果と比較すると、2022 年調査・2024 年調査と同様に TOP3 には「明石家さんまさん」「今田耕司さん」「天海祐希さん」が挙がりましたが、今回調査では 1 位と 2 位の順位が入れ替わり「今田耕司さん」が 1 位でした。

◆おひとりさま（独身）生活を楽しんでいると思う芸能人 （自由回答形式）

※上位10位までを表示

	2022年調査： 全体【n=4700】			2024年調査： 全体【n=4700】			2026年調査： 全体【n=4700】	
1位	明石家さんま	293名	1位	明石家さんま	205名	1位	今田耕司	199名
2位	今田耕司	242名	2位	今田耕司	173名	2位	明石家さんま	164名
3位	天海祐希	149名	3位	天海祐希	143名	3位	天海祐希	143名
4位	久本雅美	148名	4位	中居正広	130名	4位	大久保佳代子	95名
5位	中居正広	125名	5位	いとうあさこ	104名	5位	いとうあさこ	80名
6位	石田ゆり子	120名	6位	石田ゆり子	81名	6位	石田ゆり子	60名
7位	いとうあさこ	90名	7位	大久保佳代子	66名	7位	久本雅美	38名
8位	大久保佳代子	71名	8位	久本雅美	61名	8位	黒柳徹子	30名
9位	マツコ・デラックス	46名	9位	黒柳徹子	28名	9位	徳井義実	29名
10位	米倉涼子	37名		マツコ・デラックス	28名	10位	GACKT	27名

・おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人

男性回答 1 位は「新垣結衣さん」、2 位は「福山雅治さん」

女性回答 1 位は「福山雅治さん」、2 位は「田中みな実さん」

おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人を聞いたところ、「福山雅治さん」（123 名）がダントツとなり、2 位「田中みな実さん」（55 名）、3 位「岡村隆史さん」「新垣結衣さん」「長澤まさみさん」（いずれも 45 名）と続きました。

理由をみると、1 位の福山雅治さんでは「独身男性のシンボルだと思っていた」（50 代男性）や「スター性があるから」（40 代女性）、2 位の田中みな実さんでは「一人でも強い女性というイメージがあった」（30 代女性）や「独身を貫くのかと思っていた」（50 代女性）、3 位の岡村隆史さんでは「独身のイメージが定着していた」（60 代男性）、新垣結衣さんでは「推しの女優さんだったから」（20 代男性）、長澤まさみさんでは「独り身を集めて面倒を見る姉御みたいな存在でいてほしかった」（30 代男性）といった回答がありました。

男女別にみると、男性回答の 1 位は「新垣結衣さん」（37 名）、2 位は「福山雅治さん」（34 名）、女性回答の 1 位は「福山雅治さん」（89 名）、2 位は「田中みな実さん」（46 名）となりました。

年代別にみると、すべての年代で「福山雅治さん」が 1 位となったほか、20 代では「新垣結衣さん」も同数で 1 位でした。

◆おひとりさま（独身）でいてほしかったと思う芸能人（自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

	全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】	
1位	福山雅治	123名	1位	新垣結衣	37名	1位	福山雅治	89名
2位	田中みな実	55名	2位	福山雅治	34名	2位	田中みな実	46名
3位	岡村隆史	45名	3位	岡村隆史	31名	3位	木村拓哉	17名
	新垣結衣	45名	4位	長澤まさみ	30名	4位	亀梨和也	15名
	長澤まさみ	45名	5位	ケンドーコバヤシ	18名		長澤まさみ	15名
6位	木村拓哉	28名	6位	木村拓哉	11名	6位	岡村隆史	14名
7位	亀梨和也	22名	7位	有吉弘行	10名		堂本光一	14名
8位	ケンドーコバヤシ	20名	8位	松本人志	9名	8位	櫻井翔	12名
	阿部寛	14名		田中みな実	9名	9位	新垣結衣	8名
9位	堂本光一	14名	10位	阿部寛	8名	10位	松下洸平	7名
	有吉弘行	14名					大谷翔平	7名
	20代【n=940】			30代【n=940】				
1位	新垣結衣	14名	1位	福山雅治	16名			
	福山雅治	14名	2位	田中みな実	14名			
3位	田中みな実	12名	3位	新垣結衣	11名			
4位	長澤まさみ	11名		長澤まさみ	11名			
5位	櫻井翔	7名	5位	岡村隆史	10名			
	40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】	
1位	福山雅治	19名	1位	福山雅治	49名	1位	福山雅治	25名
2位	田中みな実	15名	2位	岡村隆史	12名	2位	長澤まさみ	9名
3位	岡村隆史	13名	3位	ケンドーコバヤシ	10名		木村拓哉	9名
4位	新垣結衣	8名		木村拓哉	10名	4位	岡村隆史	8名
5位	木村拓哉	7名	5位	長澤まさみ	8名	5位	田中みな実	7名

・おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人

1 位「ファーストサマーウイカさん」2 位「鈴木亮平さん」3 位「志田未来さん」

おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人を聞いたところ、1 位「ファーストサマーウイカさん」（36 名）、2 位「鈴木亮平さん」（22 名）、3 位「志田未来さん」（19 名）、4 位「風間俊介さん」「木村拓哉さん」（いずれも 16 名）となりました。

理由をみると、1 位のファーストサマーウイカさんでは「サバサバした姉御肌で売っていたから」（50 代女性）や「バラエティも俳優業も忙しくされているので独身だと思っていた」（60 代女性）、2 位の鈴木亮平さんでは「家庭の話題が出なかったから」（60 代女性）や「仕事が忙しそうなのでもっと歳を取ってから結婚するのかなと思っていた」（40 代女性）、3 位の志田未来さんでは「子役のイメージが強かったから」（30 代男性）や「子役としてドラマに出ていた印象が強く、成長に驚いたから」（30 代女性）といった回答がありました。

男女別にみると、男性回答の 1 位は「ファーストサマーウイカさん」と「有吉弘行さん」（いずれも 9 名）、女性回答の 1 位は「ファーストサマーウイカさん」（27 名）でした。

年代別にみると、20 代の 1 位は「有吉弘行さん」、30 代の 1 位は「志田未来さん」、40 代と 60 代の 1 位は「ファーストサマーウイカさん」、50 代の 1 位は同数で「ファーストサマーウイカさん」「志田未来さん」「鈴木亮平さん」でした。

◆おひとりさま（独身）ではなかったことに驚かされた芸能人（自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

	全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】	
1位	ファーストサマーウイカ	36名	1位	ファーストサマーウイカ	9名	1位	ファーストサマーウイカ	27名
2位	鈴木亮平	22名		有吉弘行	9名	2位	鈴木亮平	19名
3位	志田未来	19名	3位	カズレーザ	7名	3位	風間俊介	14名
4位	風間俊介	16名		ケンドーコバヤシ	7名	4位	志田未来	12名
	木村拓哉	16名		志田未来	7名	5位	木村拓哉	10名
6位	出川哲朗	14名		出川哲朗	7名	6位	佐々木蔵之介	8名
	ケンドーコバヤシ	11名		松本人志	7名	7位	出川哲朗	7名
7位	長澤まさみ	11名	10位	長澤まさみ	7名		田中圭	7名
	有吉弘行	11名		田中卓志	7名	9位	田中みな実	6名
	佐々木蔵之介	10名		劇団ひとり	6名	10位	ディーン・フジオカ	5名
10位	田中圭	10名		木村拓哉	6名		岡村隆史	5名
	田中卓志	10名					松下洸平	5名
							町田啓太	5名

	20代【n=940】			30代【n=940】	
1位	有吉弘行	7名	1位	志田未来	8名
2位	木村拓哉	6名	2位	ファーストサマーウイカ	7名
3位	ファーストサマーウイカ	5名	3位	劇団ひとり	5名
4位	二宮和也	4名	4位	木村拓哉	4名
5位	ナダル / バカリズム / みなみかわ / 出川哲郎 / 風間俊介	3名		鈴木亮平	4名

	40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】	
1位	ファーストサマーウイカ	9名	1位	ファーストサマーウイカ	5名	1位	ファーストサマーウイカ	10名
2位	佐々木蔵之介	5名		志田未来	5名	2位	鈴木亮平	7名
	鈴木亮平	5名	4位	鈴木亮平	5名	3位	風間俊介	5名
4位	カズレーザ	4名		ケンドーコバヤシ	4名	4位	長澤まさみ	4名
5位	山里亮太 / 所ジョージ / 松本人志 / 信子 / 町田啓太 / 田中圭 / 田中卓志 / 風間俊介	3名		田中卓志	4名	5位	出川哲朗	3名
							田中圭	3名
							内田有紀	3名
							野呂佳代	3名

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : おひとりさまに関する調査 2026
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の未婚男女
- ◆調査期間 : 2026年7月29日～8月17日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 4,700名（有効回答から、各都道府県で男女・年代が均等になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
2,350	2,350	4,700

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■ 会社概要 ■■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 蕪木 広義（かぶらぎ ひろよし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563